



宇治群島から得られた初記録の魚類 73 種, および宇治群島周辺海域産魚類リスト

島中柚菜¹・中村潤平²・土田洋之²・松岡 翠¹・松本達也³・古楯龍星⁴・是枝伶旺⁴・出羽優風⁴・
橋本慎太郎⁴・畑瑛之郎⁵・金井聖弥³・佐藤智水⁴・吉田卓史⁶・有馬雄太⁶・檜垣健介⁶・池袋日香莉⁶・
栗山顕太⁶・松村優花⁶・本村浩之³

Author & Article Info

¹ 鹿児島大学水産学部 (鹿児島市)

YH: k5608632@kadai.jp

² いおワールドかごしま水族館 (鹿児島市)

³ 鹿児島大学総合研究博物館 (鹿児島市)

HM: motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp (corresponding author)

⁴ 鹿児島大学大学院連合農学研究科 (鹿児島市)

⁵ マルハニチロ株式会社 (東京)

⁶ 鹿児島大学大学院農林水産学研究科 (鹿児島市)

Received 06 June 2025

Revised 12 June 2025

Accepted 17 June 2025

Published 18 June 2025

DOI 10.34583/ichthy.56_0_8

Yuna Hatanaka, Jumpei Nakamura, Hiroyuki Tsuchida, Midori Matsuoka, Tatsuya Matsumoto, Ryusei Furuhashi, Reo Koreeda, Yuna Dewa, Shintaro Hashimoto, Eishiro Hata, Seiya Kanai, Masayuki C. Sato, Takushi Yoshida, Yuta Arima, Kensuke Higaki, Hikari Ikebukuro, Kenta Kuriyama, Yuka Matsumura and Hiroyuki Motomura. 2025. First records of 73 fish species from the Uji Islands, Kagoshima Prefecture, southern Japan, with a list of fishes recorded from the islands. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 56: 8–30.

Abstract

The Uji Islands, a group of uninhabited islands in the East China Sea, is located ca. 80 km west of Bohnomisaki, Minami-satsuma, Satsuma Peninsula, Kagoshima Prefecture, Japan. To date, 166 fish species have been reported from the Uji Islands during surveys of ichthyofauna of the islands. In this study, a total of 73 fish species was newly recorded on the basis of collected specimens and photographs from the Uji Islands. In addition, 36 species were newly recognized from the Uji Islands on the basis of examination of literature. These additional records bring the total number of fish species from the Uji Islands to 270. A list of the fishes currently reported from the Uji Islands is also provided in this study.

宇治群島は薩摩半島南岸の坊ノ岬の西約 80 km に位置する東シナ海上の無人島群で、宇治島 (別名: 家島, 面積 0.6 km²) と宇治向島 (面積 1.69 km²) の主島と小島・岩礁から構成され、鹿児島県南さつま市笠沙町片浦に属する (Motomura et al., 2016; 畑ほか, 2018; 公益財団法人日本離島センター, 2019). Motomura et al. (2016) は宇治群島周辺海域の魚類相を報告し、同海域から 560 標本

に基づき 70 科 154 種を記録した。これ以降、市場調査や宇治群島での魚類採集の結果から、現在にいたるまでに以下の 12 種の追加記録が得られている: シキシマハナダイ *Callanthis japonicus* Franz, 1910 (畑ほか, 2016); キビレカワハギ *Thamnaconus modestoides* (Barnard, 1927) (畑・本村, 2017); アカムツ *Doederleinia berycoides* (Hilgendorf, 1879), ナガオオメハタ *Malakichthys elegans* Matsubara and Yamaguti, 1943, およびゴイシウマヅラハギ *Thamnaconus tessellatus* (Günther, 1880) (畑ほか, 2018); ヒョウモンシャチブuri *Guentherus katoi* Senou et al., 2008 (藤原ほか, 2019); シロカサゴ *Setarches guentheri* Johnson, 1862 (Wada et al., 2020); エビスシイラ *Coryphaena equiselis* Linnaeus, 1758 (井上ほか, 2021); スバルヘビギンポ *Enneapterygius erythrosoma* Shen, 1994 (Dewa and Motomura, 2022); ゴマフヘビギンポ *Enneapterygius bahasa* Fricke, 1997 (出羽・本村, 2025); ソウシカエルアンコウ *Fowlerichthys scriptissimus* (Jordan, 1902) (松村・本村, 2025); ダイオウカサゴ *Scorpaenopsis gigas* Matsumoto and Motomura, 2025 (Matsumoto and Motomura, 2025). さらに、2015 年に得られ未同定個体であった KAUM-I. 84227 はペロガレイに同定された (小幡光汰氏, 私信) ことで宇治群島初記録となった。そのため、現在では宇治群島周辺海域から 166 種の魚類が記録されている。

2022 年 5 月から 2024 年 11 月にかけておこなわれた宇治群島での魚類調査の結果、同群島からの初めての記録となる 68 種の魚類が得られたことに加え、これまで同群島からの記録はあったものの根拠となる標本がなかった 5 種について、新たに標本が得られた。さらに文献の調査から、Motomura et al. (2016) など既報の宇治群島周辺海域の魚類を報告した文献に含まれない 36 種が確認された。本研究では、上記の初記録種を標本・写真に基づき報告するとともに、宇治群島周辺海域の魚類相を包括的に把握するため、宇治群島周辺海域産魚類リストを作成した。

材料と方法

宇治群島における魚類調査は2022年5月から2024年11月にかけて実施し、上陸して徒手・手網・投網による採集、船上から網を用いた採集、ダイビングによる採集、および船上ならびに上陸して釣り採集をおこなった。スソウミヘビ *Ophichthus urolophus* (Temminck and Schlegel, 1846) (KAUM-I. 149067) については、宇治群島近海で漁獲された個体を鹿児島県薩摩川内市下甕島の長浜港にて拾得した。標本の作製、登録、撮影、および固定方法は本村 (2009) にしたがった。標準体長 (standard length) は体長または SL, 全長 (total length) は全長または TL と表記した。計測はノギスを用いて 0.1 mm 単位までおこなった。リスト中の各種の学名と科の掲載順は本村 (2025) にしたがった。本報告に用いた標本 (KAUM-I.) と水中写真 (KAUM-II.) は鹿児島大学総合研究博物館に保管されている。 *Anguilla huangi* Teng et al., 2009 はウグマウナギ *Anguilla luzonensis* Watanabe et al., 2009 の新参異名とされており (Watanabe et al., 2013), 本研究においてもこの見解にしたがった。

宇治群島初記録の魚類リスト

ジンベエザメ科 Rhincodontidae

***Rhincodon typus* Smith, 1828**

ジンベエザメ (Fig. 1A)

写真資料 KAUM-II. 765, 宇治群島沖, 2024年4月17日, 山崎 亮。

ツノザメ科 Squalidae

***Squalus brevirostris* Tanaka, 1917**

ツマリツノザメ (Fig. 1B)

標本 KAUM-I. 211424, 全長 516.1 mm, 宇治島沖 (31°11'77"N, 129°29'09"E), 水深 130–150 m, 2024年8月6日, 釣り, 吉田卓史。

ウナギ科 Anguillidae

***Anguilla marmorata* Quoy and Gaimard, 1824**

オオウナギ (Fig. 1C)

標本 2個体 (全長 52.1–125.8 mm) : KAUM-I. 211253, 全長 52.1 mm, KAUM-I. 211291, 全長 125.8 mm, 宇治漁港内 (31°12'08"N, 129°28'21"E), 水深 0.05 m, 2024年8月7日, 手網, 是枝伶旺。

備考 本個体は背鰭起部が豊んだ胸鰭後端と肛門の中央より前にあり, 体にまだら状の斑紋があることが波戸岡 (2013) の示したオオウナギに一致し, 本種に同定された。波戸岡 (2013) は日本産ウナギ属魚類 (3種) の識別形質を整理したが, その後に Kita et al. (2021) は沖縄島からウグマウナギ *Anguilla luzonensis* を報告した。自然分布では

4種のウナギ属が日本から現時点で記録されている (波戸岡, 2013; Kita et al., 2021)。ウナギ属魚類は斑紋の有無と上顎の歯幅の形質の組み合わせを用いることで4グループに識別される (Watanabe et al., 2004)。このうちウグマウナギは体に斑紋があり, その他多くの計数形質がオオウナギと大きく重複しているものの, 上顎歯幅が幅広いことでオオウナギとは異なるグループに属する (Watanabe et al., 2004, 2009)。上顎歯帯長に占める上顎歯帯中央部の幅 (WMM/LM) はウグマウナギが 15–23% (*A. huangi* として), オオウナギが 6–13% とされ, 上顎中央部を横断する直線上の歯の数 (NMM) はウグマウナギが 3–4, オオウナギが 2–4 とされている (Watanabe et al., 2004; Teng et al., 2009)。宇治群島産の2個体は上顎歯帯の幅が狭く, LM が 10.7–12.7, NMM が 2 であったことから, 本研究においては宇治群島産のウナギ属魚類を暫定的にオオウナギに同定した。ただし, Teng et al. (2009) が用いたウグマウナギの最小サイズは全長 219.0 mm, オオウナギは不明であり, これらの小型個体においても同形質が有用であるかは不明である。

本種は宇治漁港北側に位置する護岸されたスロープ部から採集された。同所には背後の石垣から淡水が滲出しており, 最大水深 5 cm ほどの細流が形成されている。採集された2個体は共に細流上に生えた草本植物を引き抜いたところ, 根部に絡まっていた所を採集された。

ウツボ科 Muraenidae

***Uropterygius* sp. sensu Hatooka (2000)**

ホシキカイウツボ (Fig. 1D)

標本 KAUM-I. 211292, 全長 202.6 mm, 宇治島 (31°12'02"N, 129°28'24"E), 水深 0 m, 2024年8月6日, 徒手, 是枝伶旺。

ウミヘビ科 Ophichthidae

***Ophichthus urolophus* (Temminck and Schlegel, 1846)**

スソウミヘビ (Fig. 1E)

標本 KAUM-I. 149067, 全長 500.8 mm, 宇治群島近海, 2020年10月15日, トロール, 和田英敏・渋谷駿太。

ゴンズイ科 Plotosidae

***Plotosus japonicus* Yoshino and Kishimoto, 2008**

ゴンズイ (Fig. 1F)

標本 KAUM-I. 211228, 体長 59.7 mm, 宇治漁港沖 (31°12'03"N, 129°28'15"E), 水深 5–12 m, 2024年8月6日, 手網, 松岡 翠・出羽優風・佐藤智水。

ヒメ科 Aulopidae

***Hime japonicus* (Günther, 1877)**

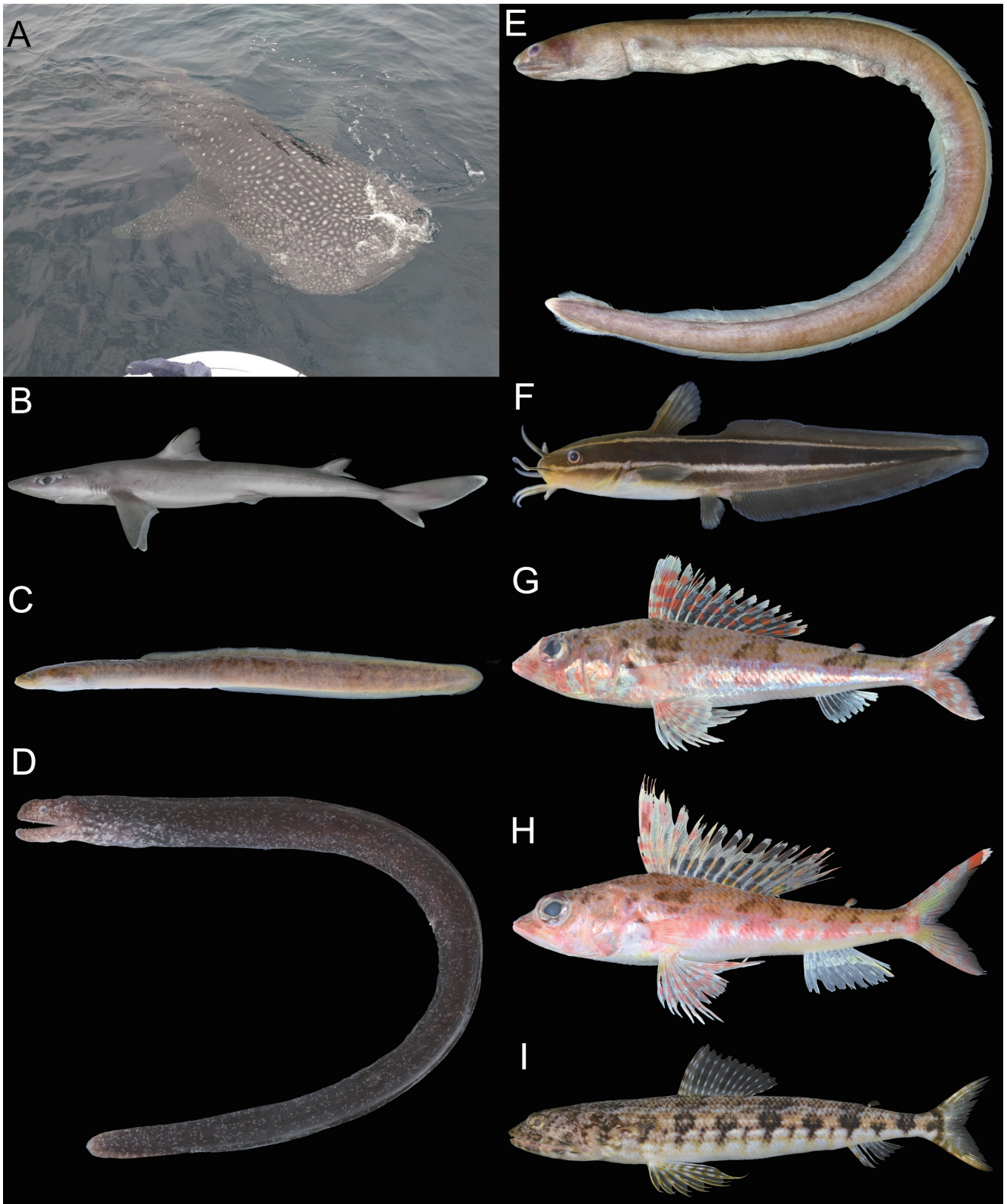


Fig. 1. Fishes recorded from the Uji Islands based on specimens or photograph. A: *Rhincodon typus* (Rhincodontidae), KAUM-II. 765; B: *Squalus brevirostris* (Squalidae), KAUM-I. 211424, 516.1 mm TL; C: *Anguilla marmorata* (Anguillidae), KAUM-I. 211253, 52.1 mm TL; D: *Uropterygius* sp. (Muraenidae), KAUM-I. 211292, 202.6 mm TL; E: *Ophichthus urolophus* (Ophichthidae), KAUM-I. 149067, 500.8 mm TL; F: *Plotosus japonicus* (Plotosidae), KAUM-I. 211228, 59.7 mm SL; G: *Hime japonicus* (Aulopidae), KAUM-I. 168583, 185.9 mm SL; H: *Hime* sp. (Aulopidae), KAUM-I. 213714, 188.0 mm SL; I: *Synodus ulae* (Synodontidae), KAUM-I. 211357, 165.4 mm SL.

ヒメ (Fig. 1G)

標本 KAUM-I. 168583, 体長 185.9 mm, 宇治群島北東沖(31°21'N, 129°35'E), 水深 150 m, 2022 年 5 月 19 日, 釣り, 中村潤平.

Hime sp. sensu Nakabo and Kai (2013)

ハタタテヒメ (Fig. 1H)

標本 KAUM-I. 213714, 体長 188.0 mm, 宇治群島東沖(31°06'N, 129°33'E), 水深 120–140 m, 2024 年 11 月 14 日,

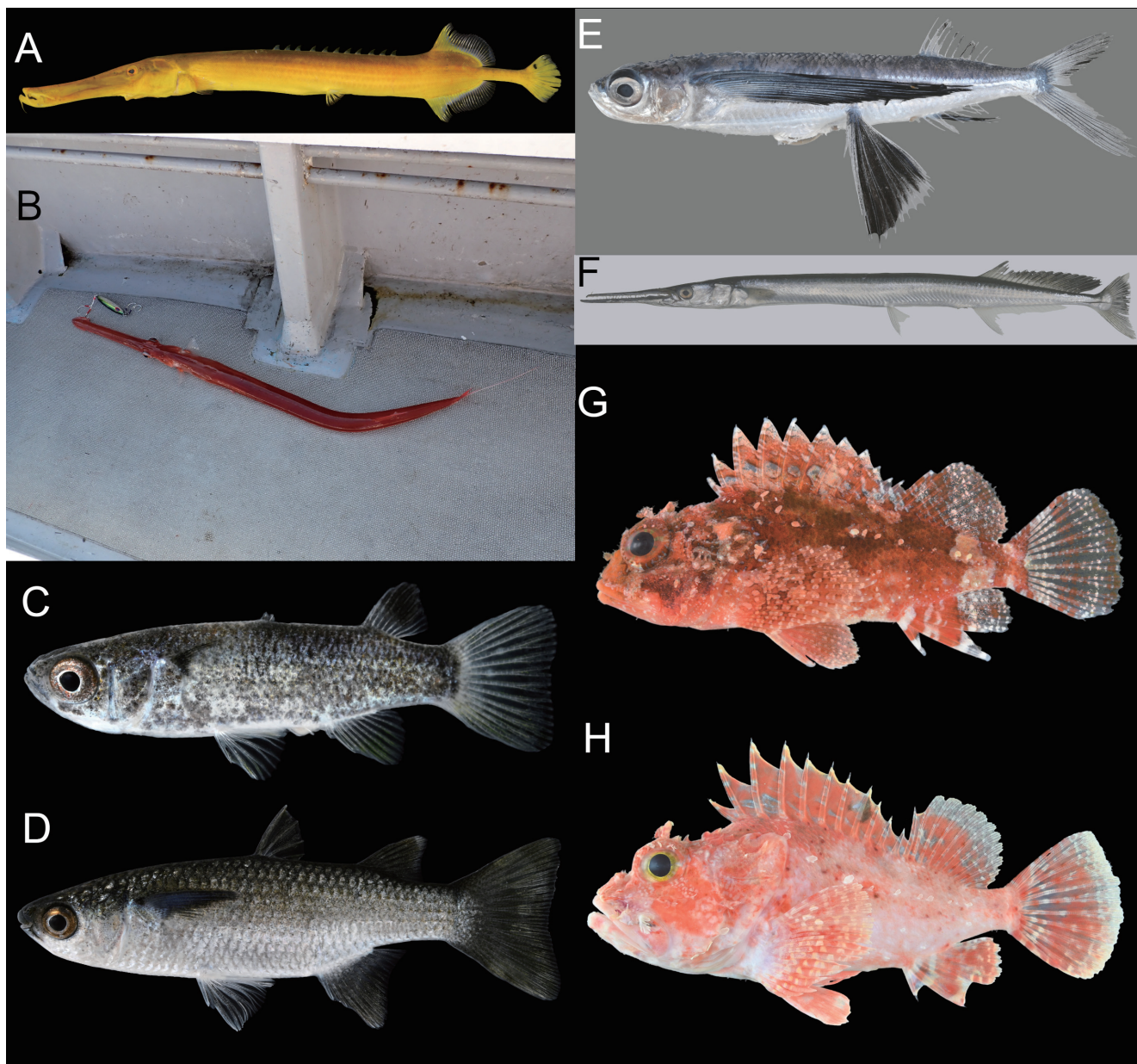


Fig. 2. Fishes recorded from the Uji Islands based on specimens or photograph. A: *Aulostomus chinensis* (Aulostomidae), KAUM-I. 211418, 631.0 mm SL; B: *Fistularia petimba* (Fistulariidae), KAUM-II. 761; C: *Ellochelon vaigiensis* (Mugilidae), KAUM-I. 211256, 15.4 mm SL; D: *Plicomugil labiosus* (Mugilidae), KAUM-I. 211254, 49.0 mm SL; E: *Hirundichthys oxycephalus* (Exocoetidae), KAUM-I. 211381, 88.6 mm SL; F: *Tylosurus crocodilus* (Belonidae), KAUM-I. 211358, 326.1 mm SL; G: *Parascorpaena mcadamsi* (Scorpaenidae), KAUM-I. 211238, 46.9 mm SL; H: *Scorpaena onaria* (Scorpaenidae), KAUM-I. 168582, 125.6 mm SL.

釣り, 中村潤平・土田洋之.

エソ科 Synodontidae

Synodus ulae Schultz, 1953

アカエソ (Fig. 1I)

標本 KAUM-I. 211357, 体長 165.4 mm, 宇治漁港外 (31°12'04"N, 129°28'18"E), 水深 3 m, 2024 年 8 月 6 日, 釣り, 橋本慎太郎.

ヘラヤガラ科 Aulostomidae

Aulostomus chinensis (Linnaeus, 1766)

ヘラヤガラ (Fig. 2A)

標本 KAUM-I. 211418, 体長 631.0 mm, 宇治漁港沖 (31°11'55"N, 129°27'54"E), 水深 20–30 m, 2024 年 8 月 6 日, 釣り, 吉田卓史.

ヤガラ科 Fistulariidae

Fistularia petimba Lacepède, 1803

アカヤガラ (Fig. 2B)

写真資料 KAUM-II. 761, 宇治群島東沖, 水深 120–150 m, 2024 年 11 月 14 日, 釣り, 中村潤平・土田洋之.

ボラ科 Mugilidae

Ellochelon vaigiensis (Quoy and Gaimard, 1825)

オニボラ (Fig. 2C)

標本 KAUM-I. 211256, 体長 15.4 mm, 宇治漁港外 (31°12'08"N, 129°28'20"E), 水深 0.1 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 金井聖弥.

備考 本標本は第 1 背鰭の大部分を欠損している.

Plicomugil labiosus (Valenciennes, 1836)**ワニグチボラ** (Fig. 2D)

標本 2 個体 (体長 36.4–49.0 mm) : KAUM-I. 211254, 体長 49.0 mm, KAUM-I. 211255, 体長 36.4 mm, 宇治漁港外 (31°12'08"N, 129°28'20"E), 水深 0.1 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 是枝伶旺.

トビウオ科 Exocoetidae***Hirundichthys oxycephalus*** (Bleeker, 1853)**ホソアオトビ** (Fig. 2E)

標本 8 個体 (体長 22.5–88.6 mm) : KAUM-I. 211381, 体長 88.6 mm, KAUM-I. 211382, 体長 83.4 mm, KAUM-I. 211383, 体長 59.4 mm, KAUM-I. 211384, 体長 61.9 mm, KAUM-I. 211385, 体長 46.9 mm, KAUM-I. 211386, 体長 49.5 mm, KAUM-I. 211387, 体長 33.0 mm, KAUM-I. 211388, 体長 22.5 mm, 宇治群島南東沖 (31°07'30"N, 129°34'15"E), 水深 0 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 有馬雄太.

ダツ科 Belonidae***Tylosurus crocodilus*** (Péron and Lesueur, 1821)**オキザヨリ** (Fig. 2F)

標本 KAUM-I. 211358, 体長 326.1 mm, 宇治漁港外 (31°12'04"N, 129°28'18"E), 水深 3 m, 2024 年 8 月 6 日, 釣り, 橋本慎太郎.

フサカサゴ科 Scorpaenidae***Parascorpaena mcadamsi*** (Fowler, 1938)**トゲイッテンフサカサゴ** (Fig. 2G)

標本 4 個体 (体長 18.7–46.9 mm) : KAUM-I. 211238, 体長 46.9 mm, KAUM-I. 211239, 体長 25.8 mm, KAUM-I. 211240, 体長 22.2 mm, KAUM-I. 211241, 体長 18.7 mm, 宇治漁港沖 (31°12'03"N, 129°28'15"E), 水深 5–12 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 松岡 翠・出羽優風・佐藤智水.

Scorpaena onaria Jordan and Snyder, 1900**フサカサゴ** (Fig. 2H)

標本 KAUM-I. 168582, 体長 125.6 mm, 宇治群島北東沖 (31°21'N, 129°35'E), 水深 150 m, 2022 年 5 月 19 日, 釣り, 中村潤平.

ハタ科 Epinephelidae***Epinephelus maculatus*** (Bloch, 1790)**シロブチハタ** (Fig. 3A)

標本 KAUM-I. 192210, 体長 315.8 mm, 宇治群島北東沖, 水深 30–40 m, 2023 年 11 月 22 日, 釣り, 宮国 友.

Epinephelus merra Bloch, 1793**カンモンハタ** (Fig. 3B)

標本 KAUM-I. 211366, 体長 162.0 mm, 宇治漁港外 (31°12'06"N, 129°28'19"E), 水深 5 m, 2024 年 8 月 6 日, 釣り, 橋本慎太郎.

Epinephelus poecilonotus (Temminck and Schlegel, 1843)**イヤゴハタ** (Fig. 3C)

写真資料 KAUM-II. 763, 宇治群島東沖, 水深 120–150 m, 2024 年 11 月 14 日, 釣り, 中村潤平・土田洋之.

Hyporthodus septemfasciatus (Thunberg, 1793)**マハタ** (Fig. 3D)

標本 KAUM-I. 187728, 体長 486.2 mm, 宇治群島北東沖 (31°15'N, 129°30'E), 水深 110–130 m, 2023 年 7 月 20 日, 釣り, 中村潤平.

キントキダイ科 Priacanthidae***Cookeolus japonicus*** (Cuvier, 1829)**チカメキントキ** (Fig. 3E)

標本 KAUM-I. 187727, 体長 246.1 mm, 宇治群島北東沖 (31°15'N, 129°30'E), 水深 110–130 m, 2023 年 7 月 20 日, 釣り, 中村潤平.

備考 本種は北島ほか (1976) によって宇治群島から報告されていたが, 根拠となる標本は残されていないため, 本標本は宇治群島における本種の標本に基づく初記録となる.

アジ科 Carangidae***Seriola dumerili*** (Risso, 1810)**カンパチ** (Fig. 3F)

標本 2 個体 (体長 175.5–568.0 mm) : KAUM-I. 187722, 体長 568.0 mm, 宇治群島北東沖 (31°20'N, 129°34'E), 水深 120 m, 2023 年 7 月 20 日, 釣り, 中村潤平; KAUM-I. 211356, 体長 175.5 mm, 宇治漁港 (31°12'04"N, 129°28'18"E), 水深 3 m, 2024 年 8 月 6 日, 釣り, 橋本慎太郎.

備考 本種は金森ほか (1956) によって宇治群島から報告されていたが, 根拠となる標本は残されていないため, 本標本は宇治群島における本種の標本に基づく初記録となる.

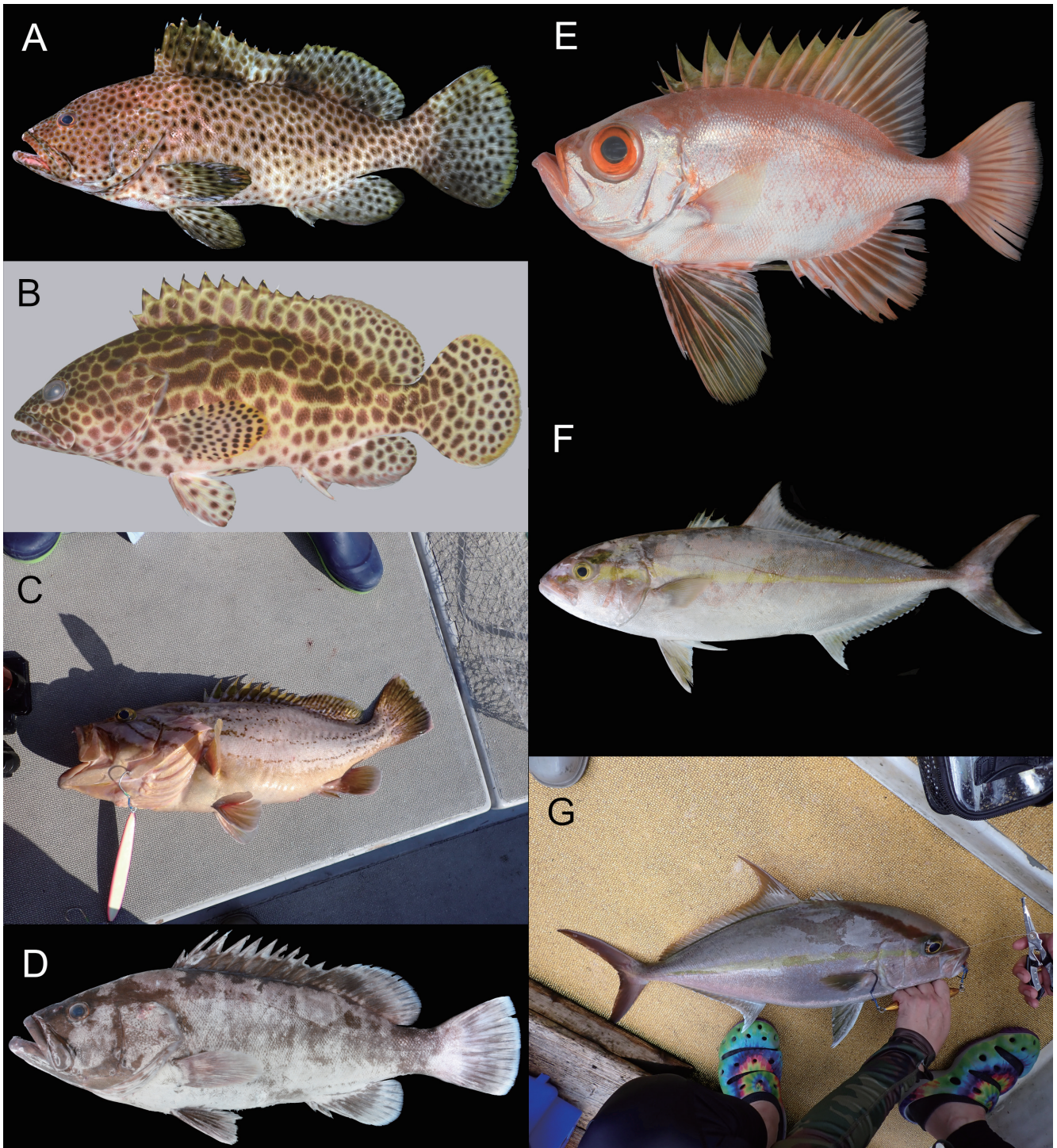


Fig. 3. Fishes recorded from the Uji Islands based on specimens or photographs. A: *Epinephelus maculatus* (Epinephelidae), KAUM-I. 192210, 315.8 mm SL; B: *Epinephelus merra* (Epinephelidae), KAUM-I. 211366, 162.0 mm SL; C: *Epinephelus poecilonotus* (Epinephelidae), KAUM-II. 763; D: *Hyporthodus septemfasciatus* (Epinephelidae), KAUM-I. 187728, 486.2 mm SL; E: *Cookeolus japonicus* (Priacanthidae), KAUM-I. 187727, 246.1 mm SL; F: *Seriola dumerili* (Carangidae), KAUM-I. 187722, 568.0 mm SL; G: *Seriola rivoliana* (Carangidae), KAUM-II. 763.

Seriola rivoliana Valenciennes, 1833

ヒレナガカンパチ (Fig. 3G)

写真資料 KAUM-II. 763, 宇治群島東沖, 水深 120 m, 2023 年 7 月 20 日, 釣り, 土田洋之.

ハチビキ科 Emmelichthyidae

Emmelichthys struhsakeri Heemstra and Randall, 1977

ロウソクチビキ (Fig. 4A)

標本 2 個体 (体長 109.8–115.4 mm) : KAUM-I. 213718,

体長 115.4 mm, KAUM-I. 213719, 体長 109.8 mm, 宇治群島東沖 (31°06'N, 129°33'E), 水深 130–140 m, 2024 年 11 月 14 日, 釣り, 中村潤平・土田洋之.

Erythrocles schlegelii (Richardson, 1846)

ハチビキ (Fig. 4B)

標本 KAUM-I. 168581, 体長 221.0 mm, 宇治群島北東

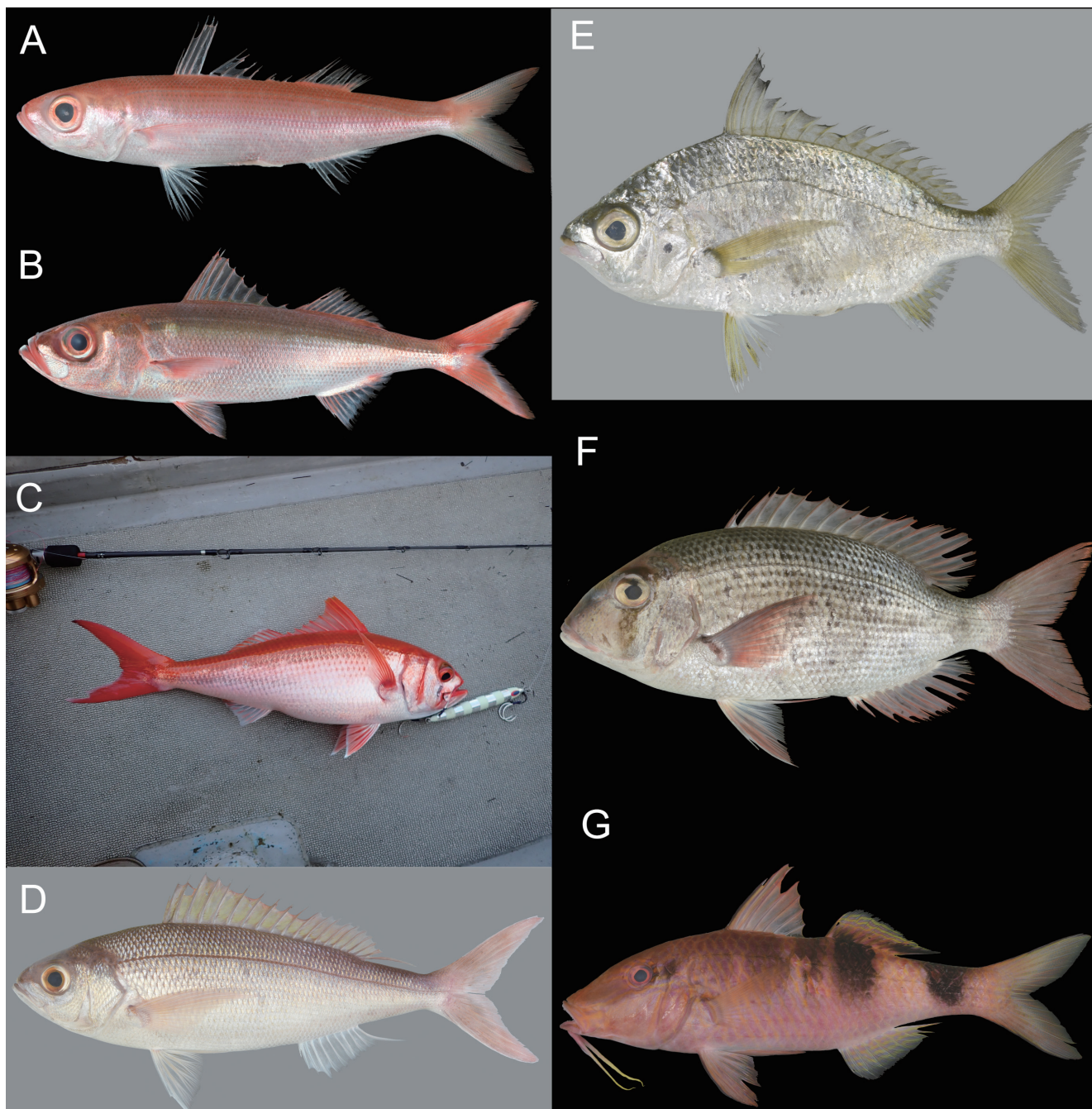


Fig. 4. Fishes recorded from the Uji Islands based on specimens or photograph. A: *Emmelichthys struhsakeri* (Emmelichthyidae), KAUM-I. 213719, 109.8 mm SL; B: *Erythrocles schlegelii* (Emmelichthyidae), KAUM-I. 168581, 221.0 mm SL; C: *Etelis radiousus* (Lutjanidae), KAUM-II. 764; D: *Pristipomoides sieboldii* (Lutjanidae), KAUM-I. 187725, 309.7 mm SL; E: *Gerres equulus* (Gerreidae), KAUM-I. 211368, 163.3 mm SL; F: *Gymnocranius superciliosus* (Lethrinidae), KAUM-I. 211378, 419.0 mm SL; G: *Parupeneus multifasciatus* (Mullidae), KAUM-I. 211372, 130.6 mm SL.

沖(31°21'N, 129°35'E), 水深 130 m, 2022 年 5 月 19 日, 釣り, 中村潤平.

備考 本種は肥後ほか(1968)によって宇治群島から報告されていたが, 根拠となる標本は残されていないため, 本標本は宇治群島における本種の標本に基づく初記録となる.

フエダイ科 Lutjanidae

Etelis radiousus Anderson, 1981

オオクチハマダイ (Fig. 4C)

写真資料 KAUM-II. 764, 宇治群島東沖, 水深 120–150 m, 2024 年 11 月 14 日, 釣り, 中村潤平・土田洋之.

Pristipomoides sieboldii (Bleeker, 1857)

ヒメダイ (Fig. 4D)

標本 KAUM-I. 187725, 体長 309.7 mm, 宇治群島北東沖 (31°15'N, 129°30'E), 水深 110–130 m, 2023 年 7 月 20 日, 釣り, 中村潤平.

クロサギ科 Gerreidae

Gerres equulus Temminck and Schlegel, 1844

クロサギ (Fig. 4E)

標本 KAUM-I. 211368, 体長 163.3 mm, 宇治漁港外 (31°12'06"N, 129°28'19"E), 水深 5 m, 2024 年 8 月 6 日, 釣り, 松村優花.

フエフキダイ科 Lethrinidae

Gymnocranius superciliosus Brosa et al., 2013

ヒキマユメイチ (Fig. 4F)

標本 KAUM-I. 211378, 体長 419.0 mm, 宇治漁港外 (31°12'06"N, 129°28'19"E), 水深 5 m, 2024 年 8 月 6 日, 釣り, 有馬雄太.

ヒメジ科 Mullidae

Parupeneus multifasciatus (Quoy and Gaimard, 1825)

オジサン (Fig. 4G)

標本 2 個体 (体長 130.6–191.3 mm) : KAUM-I. 211372, 体長 130.6 mm, 宇治漁港外 (31°11'55"N, 129°27'54"E), 水深 20–30 m, 2024 年 8 月 6 日, 釣り, 畑瑛之郎; KAUM-I. 211445, 体長 191.3 mm, 宇治漁港外 (31°12'06"N, 129°28'19"E), 水深不明, 2024 年 8 月 6 日, 釣り, 橋本慎太郎.

チヨウチヨウウオ科 Chaetodontidae

Chaetodon trifascialis Quoy and Gaimard, 1825

ヤリカタギ (Fig. 5A)

標本 KAUM-I. 211245, 体長 13.2 mm, 宇治漁港沖 (31°12'03"N, 129°28'15"E), 水深 5–12 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 松岡 翠・出羽優風・佐藤智水.

Chaetodon vagabundus Linnaeus, 1758

フウライチヨウチヨウウオ (Fig. 5B)

標本 KAUM-I. 211244, 体長 36.2 mm, 宇治漁港沖 (31°12'03"N, 129°28'15"E), 水深 5–12 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 松岡 翠・出羽優風・佐藤智水.

キンチャクダイ科 Pomacanthidae

Pomacanthus semicirculatus (Cuvier, 1831)

サザナミヤッコ (Fig. 5C)

標本 KAUM-I. 211246, 体長 33.0 mm, 宇治漁港沖 (31°12'03"N, 129°28'15"E), 水深 5–12 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 松岡 翠・出羽優風・佐藤智水.

スズメダイ科 Pomacentridae

Abudefduf notatus (Day, 1870)

イソスズメダイ (Fig. 5D)

標本 KAUM-I. 211275, 体長 31.2 mm, 宇治島 (31°12'01"N, 129°28'23"E), 水深 0.3 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 古橋龍星.

Abudefduf sexfasciatus (Lacepède, 1801)

ロクセスズメダイ (Fig. 5E)

標本 KAUM-I. 211359, 体長 117.7 mm, 宇治漁港外 (31°12'06"N, 129°28'19"E), 水深 5 m, 2024 年 8 月 6 日, 釣り, 橋本慎太郎.

Chromis chrysurus (Bliss, 1883)

アマミスズメダイ (Fig. 5F)

標本 KAUM-I. 211229, 体長 51.9 mm, 宇治漁港沖 (31°12'03"N, 129°28'15"E), 水深 5–12 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 松岡 翠・出羽優風・佐藤智水.

ユゴイ科 Kuhliidae

Kuhlia mugil (Forster, 1801)

ギンユゴイ (Fig. 5G)

標本 KAUM-I. 211279, 体長 54.5 mm, 宇治漁港外 (31°12'04"N, 129°28'18"E), 水深 0.5 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 橋本慎太郎.

イスズミ科 Kyphosidae

Kyphosus bigibbus Lacepède, 1801

ノトイスズミ (Fig. 6A)

標本 KAUM-I. 211350, 体長 120.6 mm, 宇治漁港内 (31°12'07"N, 129°28'20"E), 水深 1 m, 2024 年 8 月 6 日, 投網, 古橋龍星.

Kyphosus cinerascens (Forsskal, 1775)

テンジクイサキ (Fig. 6B)

標本 KAUM-I. 211351, 体長 110.9 mm, 宇治漁港内 (31°12'07"N, 129°28'20"E), 水深 1 m, 2024 年 8 月 6 日, 投網, 古橋龍星.

メジナ科 Girellidae

Girella leonina (Richardson, 1846)

クロメジナ (Fig. 6C)

標本 KAUM-I. 211442, 体長 240.1 mm, 宇治漁港外 (31°12'06"N, 129°28'19"E), 水深 5 m, 2024 年 8 月 6 日, 釣り, 有馬雄太.

イソギンボ科 Blenniidae

Andamia tetradactylus (Bleeker, 1858)

ヨダレカケ (Fig. 6D)

標本 KAUM-I. 211296, 体長 14.2 mm, 宇治島 (31°

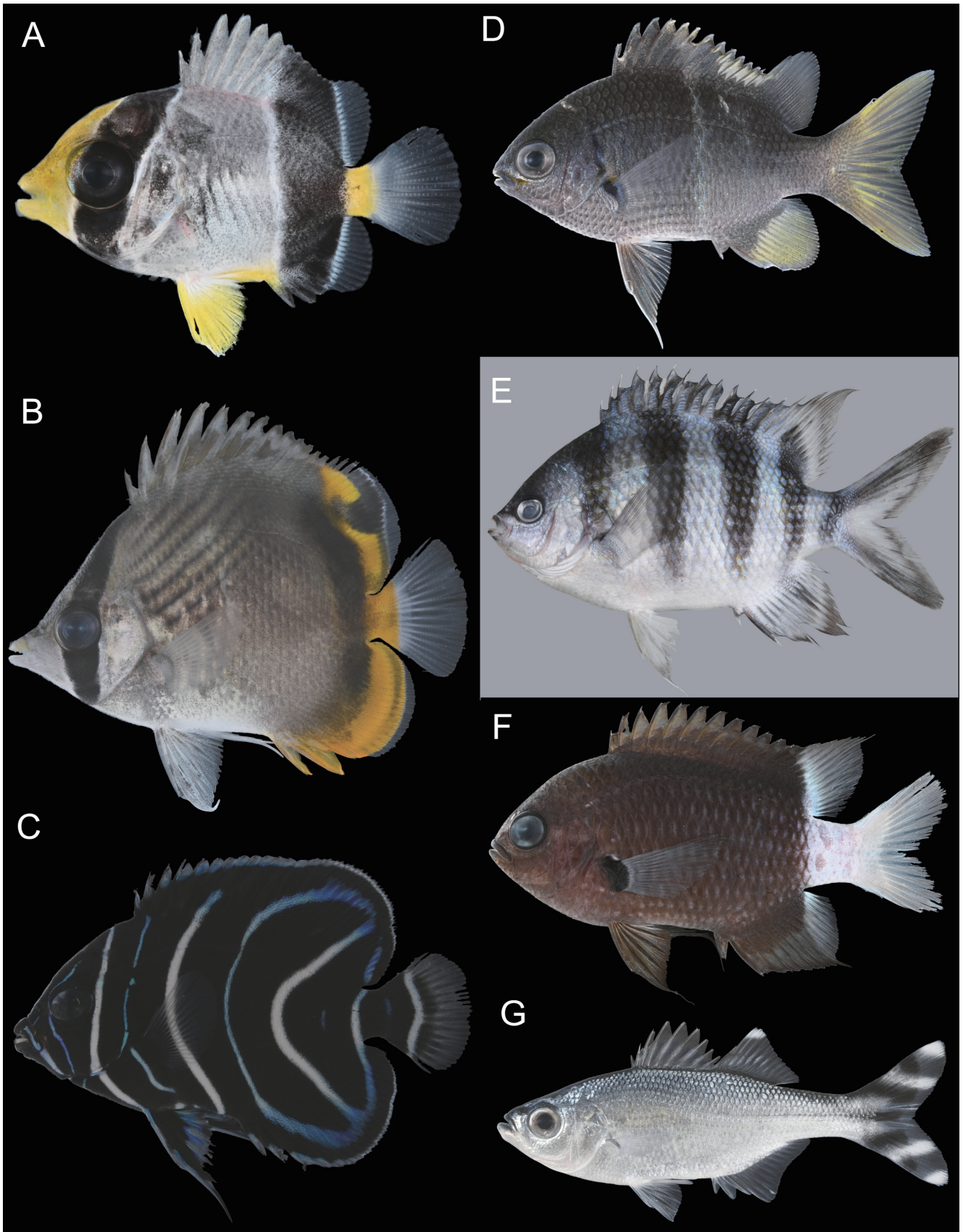


Fig. 5. Fishes recorded from the Uji Islands based on specimens. A: *Chaetodon trifascialis* (Chaetodontidae), KAUM-I. 211245, 13.2 mm SL; B: *Chaetodon vagabundus* (Chaetodontidae), KAUM-I. 211244, 36.2 mm SL; C: *Pomacanthus semicirculatus* (Pomacanthidae), KAUM-I. 211246, 33.0 mm SL; D: *Abudefduf notatus* (Pomacanthidae), KAUM-I. 211275, 31.2 mm SL; E: *Abudefduf sexfasciatus* (Pomacentridae), KAUM-I. 211359, 117.7 mm SL; F: *Chromis chrysura* (Pomacentridae), KAUM-I. 211229, 51.9 mm SL; G: *Kuhlia mugil* (Kuhliidae), KAUM-I. 211279, 54.5 mm SL.

12°02'N, 129°28'24"E), 水深 0 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網,
是枝伶旺.

Ecsenius namiyei (Jordan and Evermann, 1902)
ニラミギンポ (Fig. 6E)

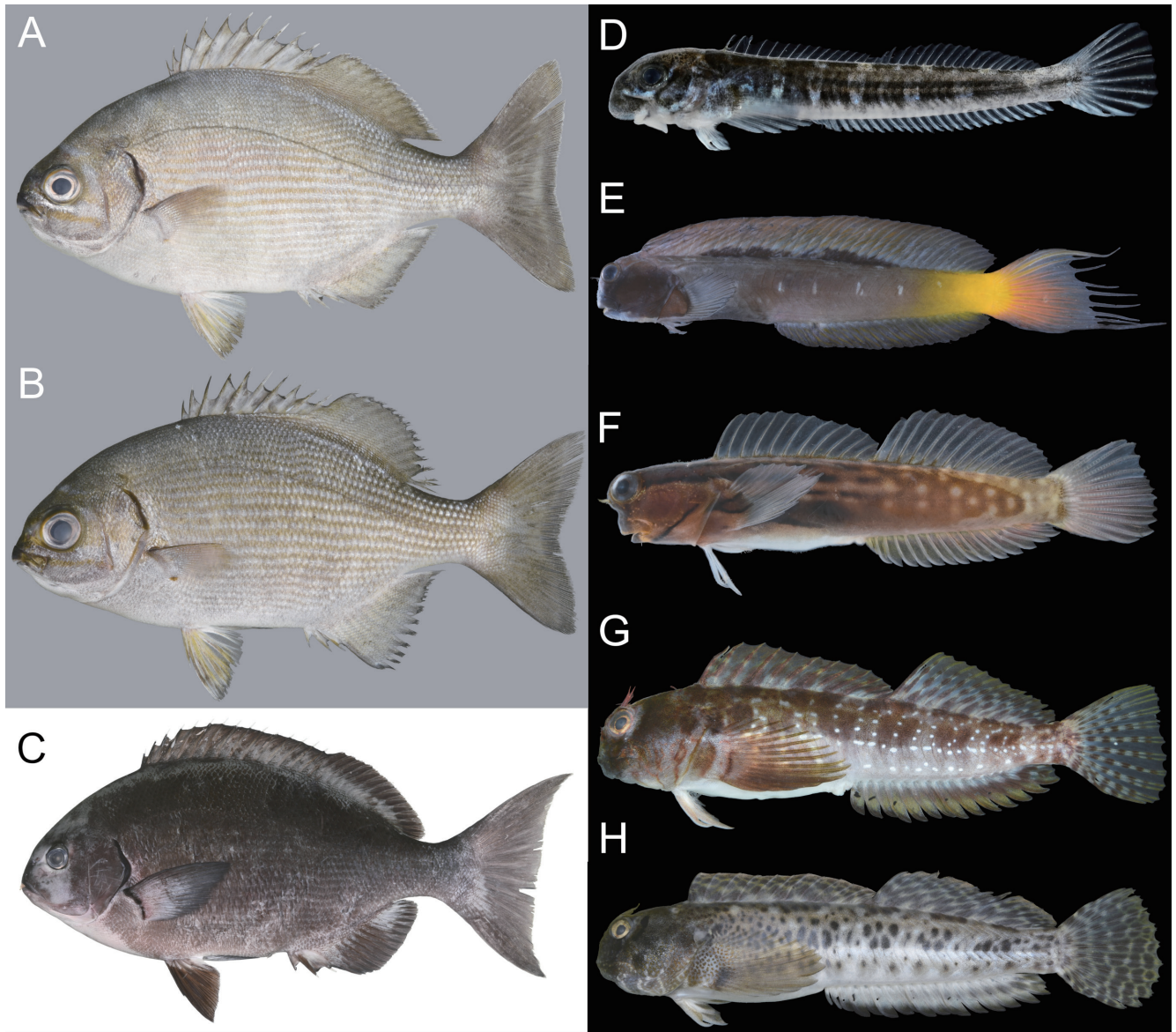


Fig. 6. Fishes recorded from the Uji Islands based on specimens. A: *Kyphosus bigibbus* (Kyphosidae), KAUM-I. 211350, 120.6 mm SL; B: *Kyphosus cinerascens* (Kyphosidae), KAUM-I. 211351, 110.9 mm SL; C: *Girella leonina* (Girellidae), KAUM-I. 211442, 419.0 mm SL; D: *Andamia tetradactylus* (Blenniidae), KAUM-I. 211296, 14.2 mm SL; E: *Ecsenius namiyei* (Blenniidae), KAUM-I. 211230, 95.6 mm SL; F: *Ecsenius yaeyamaensis* (Blenniidae), KAUM-I. 211231, 38.9 mm SL; G: *Entomacrodus caudofasciatus* (Blenniidae), KAUM-I. 211354, 45.8 mm SL; H: *Entomacrodus striatus* (Blenniidae), KAUM-I. 211353, 61.5 mm SL.

標本 2 個体（体長 15.4–95.6 mm）：KAUM-I. 211230, 体長 95.6 mm, KAUM-I. 211248, 体長 15.4 mm, 宇治漁港沖 (31°12′03″N, 129°28′15″E), 水深 5–12 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 松岡 翠・出羽優風・佐藤智水。

***Ecsenius yaeyamaensis* (Aoyagi, 1954)**

イシガキカエルウオ (Fig. 6F)

標本 KAUM-I. 211231, 体長 38.9 mm, 宇治漁港沖 (31°12′03″N, 129°28′15″E), 水深 5–12 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 松岡 翠・出羽優風・佐藤智水。

***Entomacrodus caudofasciatus* (Regan, 1909)**

アオモンギンボ (Fig. 6G)

標本 KAUM-I. 211354, 体長 45.8 mm, 宇治漁港外 (31°

12′04″N, 129°28′18″E), 水深 0.5 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 金井聖弥。

***Entomacrodus striatus* (Valenciennes, 1836)**

スジギンボ (Fig. 6H)

標本 KAUM-I. 211353, 体長 61.5 mm, 宇治漁港外 (31°12′04″N, 129°28′18″E), 水深 0.5 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 金井聖弥。

***Petroscirtes breviceps* (Valenciennes, 1836)**

ニジギンボ (Fig. 7A)

標本 2 個体（体長 17.8–50.5 mm）：KAUM-I. 211283, 体長 50.5 mm, 宇治漁港内 (31°12′07″N, 129°28′20″E), 水深 0.5 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 古橋龍星；KAUM-I.

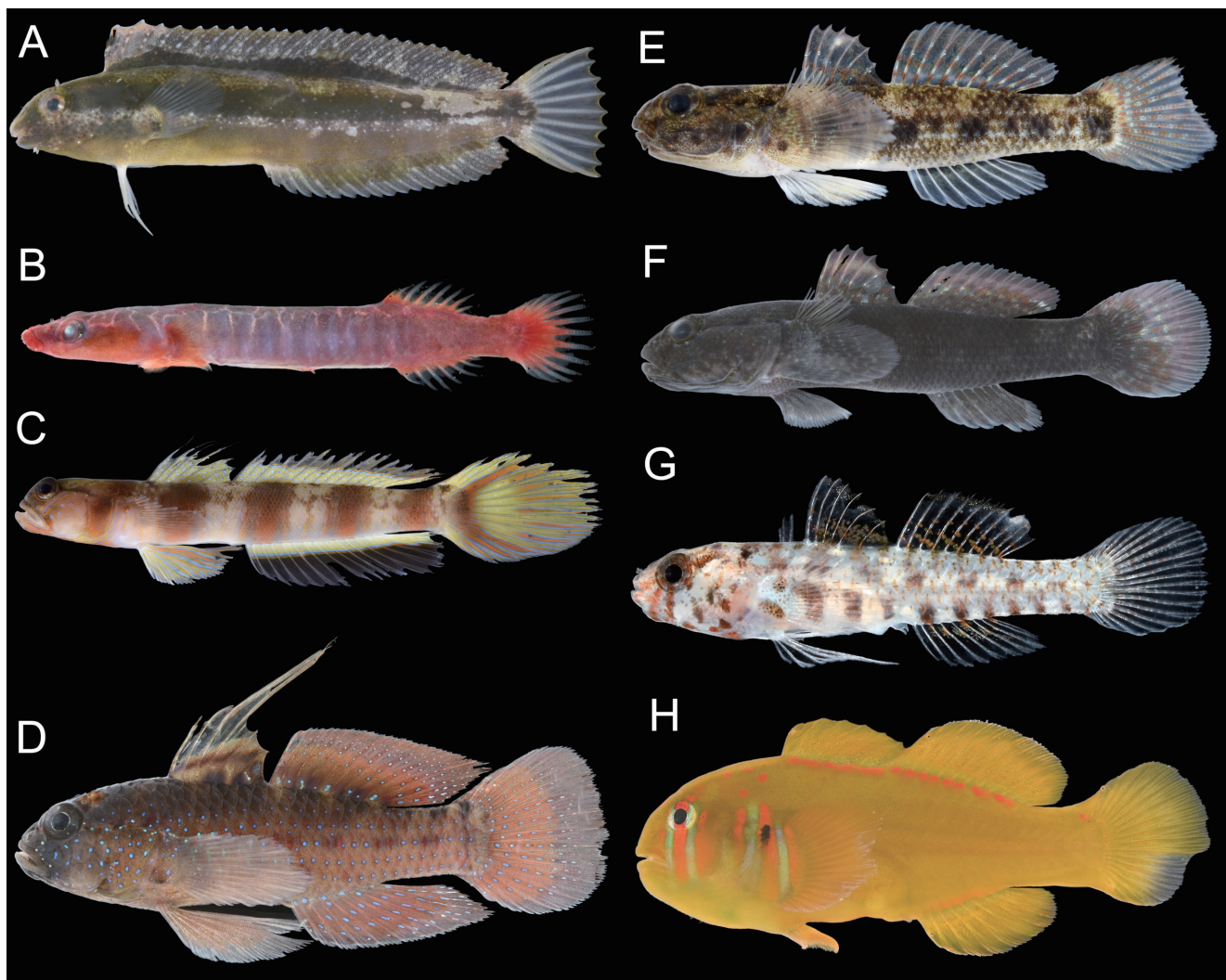


Fig. 7. Fishes recorded from the Uji Islands based on specimens. A: *Petrosirtes breviceps* (Blenniidae), KAUM-I. 211283, 50.5 mm SL; B: *Pherallodus indicus* (Gobiesocidae), KAUM-I. 211289, 19.5 mm SL; C: *Amblyeleotris japonica* (Gobiidae), KAUM-I. 211250, 69.8 mm SL; D: *Asterropteryx semipunctata* (Gobiidae), KAUM-I. 211234, 36.5 mm SL; E: *Bathygobius cocosensis* (Gobiidae), KAUM-I. 211282, 20.8 mm SL; F: *Bathygobius cyclopterus* (Gobiidae), KAUM-I. 211300, 34.7 mm SL; G: *Eviota smaragdus* (Gobiidae), KAUM-I. 211273, 13.7 mm SL; H: *Gobiodon axillaris* (Gobiidae), KAUM-I. 211326, 23.3 mm SL.

I. 211380, 体長 17.8 mm, 宇治漁港外 (31°12'06"N, 129°28'18"E), 水深 0.5 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 金井聖弥.

ウバウオ科 Gobiesocidae

Pherallodus indicus (Weber, 1913)

ホソウバウオ (Fig. 7B)

標本 4 個体 (体長 11.4–23.3 mm) : KAUM-I. 211287, 体長 23.3 mm, KAUM-I. 211288, 体長 23.1 mm, 宇治漁港外 (31°12'04"N, 129°28'18"E), 水深 0.5 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 橋本慎太郎; KAUM-I. 211289, 体長 19.5 mm, KAUM-I. 211290, 体長 11.4 mm, 宇治漁港沖外 (31°12'03"N, 129°28'15"E), 水深 5–12 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 松岡 翠・出羽優風・佐藤智水.

ハゼ科 Gobiidae

Amblyeleotris japonica Takagi, 1957

ダテハゼ (Fig. 7C)

標本 KAUM-I. 211250, 体長 69.8 mm, 宇治漁港沖 (31°12'03"N, 129°28'15"E), 水深 5–12 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 佐藤智水.

Asterropteryx semipunctata Rüppell, 1830

ホシハゼ (Fig. 7D)

標本 3 個体 (体長 31.4–36.5 mm) : KAUM-I. 211233, 体長 31.4 mm, KAUM-I. 211234, 体長 36.5 mm, KAUM-I. 211249, 体長 35.0 mm, 宇治漁港沖 (31°12'06"N, 129°28'20"E), 水深 3 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 松岡 翠・出羽優風・佐藤智水.

Bathygobius cocosensis (Bleeker, 1854)

スジクモハゼ (Fig. 7E)

標本 2 個体 (体長 11.4–20.8 mm) : KAUM-I. 211281, 体長 11.4 mm, KAUM-I. 211282, 体長 20.8 mm, 宇治漁港外 (31°12'04"N, 129°28'18"E), 水深 0.5 m, 2024 年 8 月 6 日,

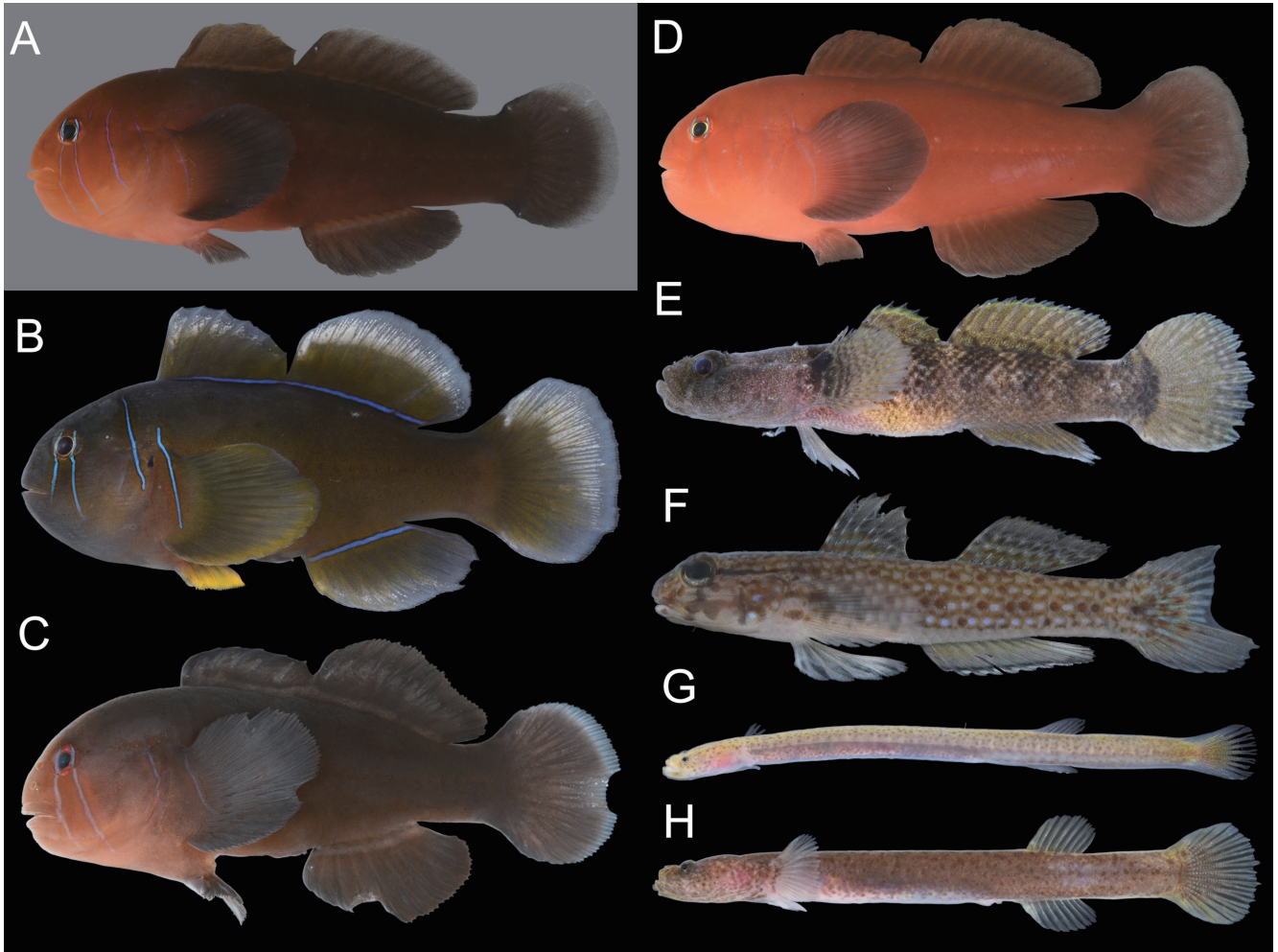


Fig. 8. Fishes recorded from the Uji Islands based on specimens. A: *Gobiodon quinquestrigatus* (Gobiidae), KAUM-I. 211307, 31.8 mm SL; B: *Gobiodon* sp.A (Gobiidae), KAUM-I. 211311, 37.6 mm SL; C: *Gobiodon* sp.4 (Gobiidae), KAUM-I. 211312, 21.0 mm SL; D: *Gobiodon spadix* (Gobiidae), KAUM-I. 211305, 37.5 mm SL; E: *Heteroleotris poecila* (Gobiidae), KAUM-I. 211302, 24.3 mm SL; F: *Istigobius campbelli* (Gobiidae), KAUM-I. 211235, 36.1 mm SL; G: *Luciogobius elongatus* (Gobiidae), KAUM-I. 211406, 21.1 mm SL; H: *Luciogobius* sp. 3 (Gobiidae), KAUM-I. 211400, 25.9 mm SL.

手網，橋本慎太郎。

***Bathygobius cyclopterus* (Valenciennes, 1837)**

ヤハズハゼ (Fig. 7F)

標本 3 個体 (体長 23.1–45.8 mm) : KAUM-I. 211280, 体長 45.8 mm, 宇治漁港外 (31°12'04"N, 129°28'18"E), 水深 0.5 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 橋本慎太郎; KAUM-I. 211300, 体長 34.7 mm, 宇治島 (31°12'05"N, 129°28'23"E), 水深 1 m, 2024 年 8 月 7 日, 手網, 是枝伶旺; KAUM-I. 211301, 体長 23.1 mm, 宇治島 (31°12'05"N, 129°28'23"E), 水深 0.1 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 是枝伶旺。

***Eviota smaragdus* Jordan and Seale, 1906**

クロホシイソハゼ (Fig. 7G)

標本 KAUM-I. 211273, 体長 13.7 mm, 宇治漁港沖 (31°12'03"N, 129°28'15"E), 水深 5–12 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 松岡 翠・出羽優風・佐藤智水。

***Gobiodon axillaris* De Vis, 1884**

セアカコバンハゼ (Fig. 7H)

標本 KAUM-I. 211326, 体長 23.3 mm, 宇治漁港沖 (31°12'03"N, 129°28'15"E), 水深 5–12 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 佐藤智水。

***Gobiodon quinquestrigatus* (Valenciennes, 1837)**

フタイロサングハゼ (Fig. 8A)

標本 KAUM-I. 211307, 体長 31.8 mm, 宇治漁港沖 (31°12'03"N, 129°28'15"E), 水深 5–12 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 佐藤智水。

***Gobiodon* sp. A sensu Hayashi et al. (1990)**

コバンハゼ (Fig. 8B)

標本 KAUM-I. 211311, 体長 37.6 mm, 宇治漁港沖 (31°12'03"N, 129°28'15"E), 水深 5–12 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 佐藤智水。

Gobiodon sp. 4 sensu Akihito et al. (2013)**フタスジコバンハゼ** (Fig. 8C)

標本 2 個体 (体長 21.0–33.3 mm) : KAUM-I. 211312, 体長 21.0 mm, KAUM-I. 211313, 体長 33.3 mm, 宇治漁港沖 (31°12'03"N, 129°28'15"E), 水深 5–12 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 佐藤智水.

Gobiodon spadix Sato and Motomura, 2024**アカネコバンハゼ** (Fig. 8D)

標本 KAUM-I. 211305, 体長 37.5 mm, 宇治漁港沖 (31°12'03"N, 129°28'15"E), 水深 5–12 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 佐藤智水.

Heteroleotris poecila (Fowler, 1946)**シロズキンハゼ** (Fig. 8E)

標本 3 個体 (体長 12.7–24.3 mm) : KAUM-I. 211257, 体長 12.7 mm, KAUM-I. 211302, 体長 24.3 mm, KAUM-I. 211303, 体長 14.2 mm, 宇治島 (31°12'02"N, 129°28'24"E), 水深 0 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 是枝伶旺.

Istigobius campbelli (Jordan and Snyder, 1901)**クツワハゼ** (Fig. 8F)

標本 KAUM-I. 211235, 体長 36.1 mm, 宇治漁港沖 (31°12'06"N, 129°28'20"E), 水深 3 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 松岡 翠・出羽優風・佐藤智水.

Luciogobius elongatus Regan, 1905**ナガミミズハゼ** (Fig. 8G)

標本 4 個体 (体長 21.0–22.4 mm) : KAUM-I. 211403, 体長 22.4 mm, KAUM-I. 211404, 体長 22.1 mm, KAUM-I. 211405, 体長 21.0 mm, KAUM-I. 211406, 体長 21.1 mm, 宇治島 (31°12'02"N, 129°28'24"E), 水深 0 m, 2024 年 8 月 6 日, 徒手, 古橋龍星.

Luciogobius sp. 3 sensu Shibukawa et al. (2019)**ゴマミミズハゼ** (Fig. 8H)

標本 8 個体 (体長 17.6–33.3 mm) : KAUM-I. 211314, 体長 33.3 mm, KAUM-I. 211315, 体長 31.2 mm, KAUM-I. 211316, 体長 19.8 mm, 宇治島 (31°12'08"N, 129°28'21"E), 2024 年 8 月 6 日, 手網, 金井聖弥; KAUM-I. 211321, 体長 26.5 mm, 宇治島 (31°12'02"N, 129°28'24"E), 水深 0.05 m, 2024 年 8 月 6 日, 徒手, 是枝伶旺; KAUM-I. 211322, 体長 17.6 mm, 宇治島 (31°12'05"N, 129°28'23"E), 水深 0 m, 2024 年 8 月 6 日, 徒手, 古橋龍星; KAUM-I. 211400, 体長 25.9 mm, KAUM-I. 211401, 体長 18.1 mm, KAUM-I. 211402, 体長 17.6 mm, 宇治島 (31°12'02"N, 129°28'24"E), 水深 0 m, 2024 年 8 月 6 日, 徒手, 古橋龍星.

備考 宇治群島産の 3 個体 (KAUM-I. 211314, 211315, 211316) は宇治漁港内を流れる細流の転石下から採集された.

Paragobiodon lacunicolus (Kendall and Goldsborough, 1911)**パンダダルマハゼ** (Fig. 9A)

標本 KAUM-I. 211266, 体長 11.0 mm, 宇治漁港沖 (31°12'03"N, 129°28'15"E), 水深 5–12 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 松岡 翠・出羽優風・佐藤智水.

クロユリハゼ科 Ptereleotridae

Parioglossus philippinus (Herre, 1945)**ベニツケサツキハゼ** (Fig. 9B)

標本 3 個体 (体長 17.2–20.8 mm) : KAUM-I. 211293, 体長 20.8 mm, KAUM-I. 211294, 体長 18.6 mm, KAUM-I. 211295, 体長 17.2 mm, 宇治漁港内 (31°12'06"N, 129°28'18"E), 水深 1 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 古橋龍星.

マンジュウダイ科 Ehippidae

Platax orbicularis (Forsskal, 1775)**ナンヨウツバメウオ** (Fig. 9C)

標本 KAUM-I. 211352, 体長 42.2 mm, 宇治島 (31°12'00"N, 129°28'25"E), 水深 0.3 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 是枝伶旺.

クロホシマンジュウダイ科 Scatophagidae

Scatophagus argus (Linnaeus, 1766)**クロホシマンジュウダイ** (Fig. 9D)

標本 3 個体 (体長 11.1–15.3 mm) : KAUM-I. 211284, 体長 15.3 mm, KAUM-I. 211285, 体長 14.3 mm, KAUM-I. 211286, 体長 11.1 mm, 宇治漁港内 (31°12'07"N, 129°28'20"E), 水深 1 m, 2024 年 8 月 7 日, 手網, 金井聖弥.

アイゴ科 Siganidae

Siganus argenteus (Quoy and Gaimard, 1825)**ハナアイゴ** (Fig. 9E)

標本 KAUM-I. 211443, 体長 355.6 mm, 宇治漁港外 (31°12'06"N, 129°28'19"E), 水深 5 m, 2024 年 8 月 6 日, 釣り, 有馬雄太.

Siganus fuscescens (Houttuyn, 1782)**アイゴ** (Fig. 9F)

標本 KAUM-I. 211258, 体長 20.3 mm, 宇治漁港内 (31°12'06"N, 129°28'20"E), 水深 3 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 松岡 翠・出羽優風・佐藤智水.

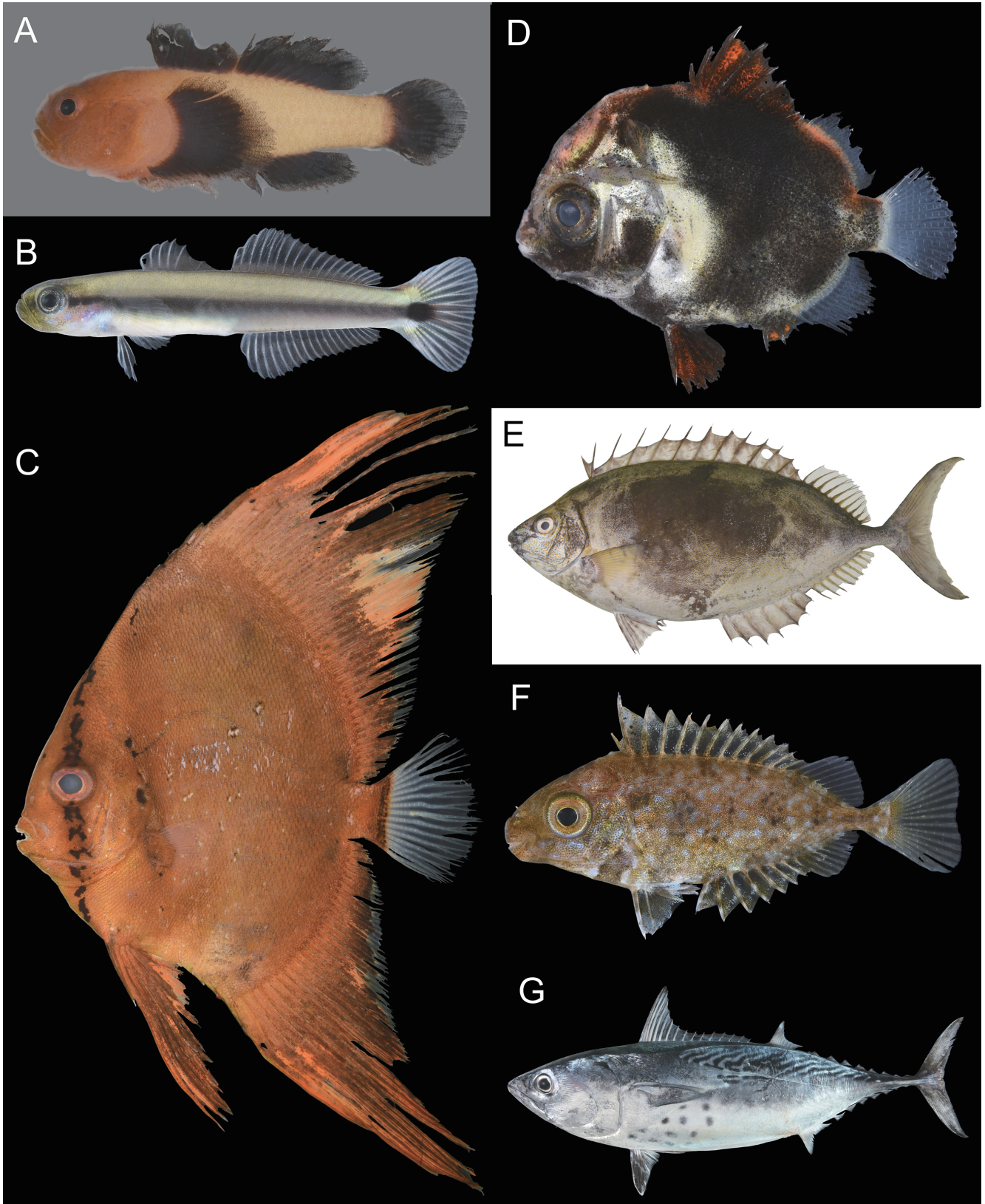


Fig. 9. Fishes recorded from the Uji Islands based on specimens. A: *Paragobiodon lacunicolus* (Gobiidae), KAUM-I. 211266, 11.0 mm SL; B: *Parioglossus philippinus* (Ptereleotridae), KAUM-I. 211293, 20.8 mm SL; C: *Platax orbicularis* (Ephippidae), KAUM-I. 211352, 42.2 mm SL; D: *Scatophagus argus* (Scatophagidae), KAUM-I. 211286, 11.1 mm SL; E: *Siganus argenteus* (Siganidae), KAUM-I. 211443, 355.6 mm SL; F: *Siganus fuscescens* (Siganidae), KAUM-I. 211258, 20.3 mm SL; G: *Euthynnus affinis* (Scombridae), KAUM-I. 197636, 345.0 mm SL.

サバ科 Scombridae

Euthynnus affinis (Cantor, 1849)

スマ (Fig. 9G)

標本 2 個体 (体長 345.0–429.2 mm) : KAUM-I. 197636, 体長 345.0 mm, 宇治島沖 (31°13'N, 129°30'E), 水深 120 m, 2024 年 4 月 19 日, 釣り, 松本達也; KAUM-I. 211417, 体

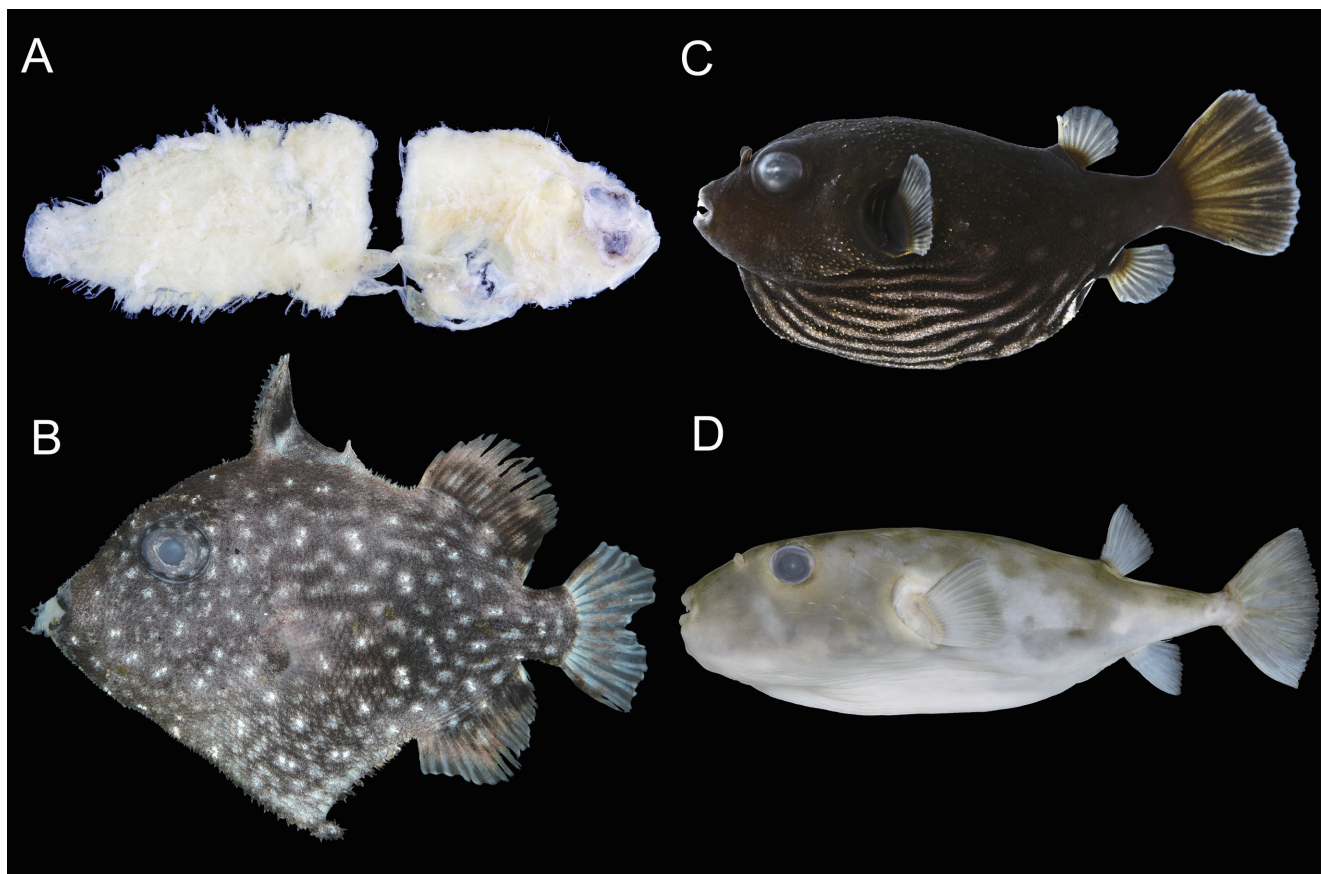


Fig. 10. Fishes recorded from the Uji Islands based on specimens. A: *Plagiopsetta glossa* (Samaridae), KAUM-I. 84227, 51.9 mm SL; B: *Canthidermis maculata* (Balistidae), KAUM-I. 211370, 22.8 mm SL; C: *Arothron hispidus* (Tetraodontidae), KAUM-I. 211252, 30.5 mm SL; D: *Sphoeroides pachygaster* (Tetraodontidae), KAUM-I. 211363, 176.9 mm SL.

長 429.2 mm, 宇治島沖 (31°13'N, 129°30'E), 水深 120 m, 2024 年 8 月 6 日, 釣り, 松本達也.

備考 本種は金森ほか (1956) と肥後ほか (1968) によって宇治群島から報告されていたが, 根拠となる標本は残されていないため, 本標本は宇治群島における本種の標本に基づく初記録となる.

ペロガレイ科 Samaridae

Plagiopsetta glossa Franz, 1910

ペロガレイ (Fig. 10A)

標本 KAUM-I. 84227, 体長 51.9 mm, 宇治島南方 (31°09'N, 129°28'E), 2015 年 4 月 22 日, ツノザメ類の胃内容物, 南星丸.

備考 本標本は尾椎骨上に肉間骨 (上・下筋骨竿) がなく, かつ腹椎骨数が 10 であり, さらに尾椎骨数が 27 であることから, ペロガレイ *P. glossa* に同定された (小幡光汰氏, 私信).

モンガラカワハギ科 Balistidae

Canthidermis maculata (Bloch, 1786)

アミモンガラ (Fig. 10B)

標本 KAUM-I. 211370, 体長 22.8 mm, 宇治漁港外 (31°

12°06'N, 129°28'18"E), 水深 0 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 古槇龍星.

フグ科 Tetraodontidae

Arothron hispidus (Linnaeus, 1758)

サザナミフグ (Fig. 10C)

標本 KAUM-I. 211252, 体長 30.5 mm, 宇治漁港沖 (31°12'03'N, 129°28'15"E), 水深 5–12 m, 2024 年 8 月 6 日, 手網, 佐藤智水.

Sphoeroides pachygaster (Müller and Troschel, 1848)

ヨリトフグ (Fig. 10D)

標本 2 個体 (体長 115.7–176.9 mm) : KAUM-I. 211363, 体長 176.9 mm, KAUM-I. 211364, 体長 115.7 mm, 宇治漁港沖 (31°11'55'N, 129°27'54"E), 水深 80–100 m, 2024 年 8 月 6 日, 釣り, 佐藤智水.

備考 本種は北島ほか (1976) によって宇治群島から報告されていたが, 根拠となる標本は残されていないため, 本標本は宇治群島における本種の標本に基づく初記録となる.

Table 1. List of fishes recorded from the Uji Islands, Kagoshima Prefecture, southern Japan.

Family	Species	Standard Japanese name	Reference
Rhincodontidae	<i>Rhincodon typus</i> Smith, 1828	Jimbezame	This study
Squalidae	<i>Squalus mitsukurii</i> Jordan and Snyder, 1903	Futotsunozame	Motomura et al. (2016), Koeda and Motomura (2017)
Heterodontidae	<i>Heterodontus japonicus</i> Miklouho-Maclay and Macleay, 1884	Nekozame	Kitajima et al. (1976)
Scyliorhinidae	<i>Scyliorhinus torazame</i> (Tanaka, 1908)	Torazame	Yamashita et al. (2012), Motomura et al. (2016)
Pentanchidae	<i>Galeus eastmani</i> (Jordan and Snyder, 1904)	Yamorizame	Motomura et al. (2016)
Triakidae	<i>Mustelus manazo</i> Bleeker, 1854	Hoshizame	Motomura et al. (2016)
Hexanchidae	<i>Hepranchias perlo</i> (Bonnaterre, 1788)	Edoaburazame	Kitajima et al. (1976)
Etmopteridae	<i>Etmopterus brachyurus</i> Smith and Radcliffe, 1912	Hosofujikujira	Motomura et al. (2016)
	<i>Etmopterus molleri</i> (Whitley, 1939)	Hiretakafujikujira	Motomura et al. (2016)
Centrophoridae	<i>Centrophorus atromarginatus</i> Garman, 1913	Aizame	Kitajima et al. (1976)
Squalidae	<i>Squalus brevirostris</i> Tanaka, 1917	Tsumaritsunozame	This study
	<i>Squalus japonicus</i> Ishikawa, 1908	Togarisunozame	Motomura et al. (2016)
	<i>Squalus mitsukurii</i> Jordan and Snyder, 1903	Futotsunozame	Motomura et al. (2016)
Rajidae	<i>Dipturus macrocauda</i> (Ishiyama 1955)	Kitsunekasube	Motomura et al. (2016)
	<i>Dipturus tengu</i> (Jordan and Fowler, 1903)	Tengukasube	Yamashita et al. (2012), Motomura et al. (2016)
Dasyatidae	<i>Hemirhynchon akajei</i> (Bürger, 1841)	Akaci	Higo et al. (1968)
Myliobatidae	<i>Myliobatis tobijei</i> Bleeker, 1854	Tobie	Kitajima et al. (1976)
Anguillidae	<i>Anguilla marmorata</i> Quoy and Gaimard, 1824	Ounagi	This study
Muraenidae	<i>Echidna nebulosa</i> (Ahl, 1789)	Kumoutsubo	Motomura et al. (2016)
	<i>Enchelycore pardalis</i> (Temminck and Schlegel, 1846)	Torautsubo	Motomura et al. (2016)
Ophichthidae	<i>Uroptygius</i> sp. sensu Hatoaka (2000)	Hoshikikautsubo	This study
	<i>Myrichthys maculosus</i> (Cuvier, 1816)	Moyomongaradoshi	Hata et al. (2015), Motomura et al. (2016)
	<i>Ophichthus urolophus</i> (Temminck and Schlegel, 1846)	Susumihebi	This study
Congridae	<i>Conger myriaster</i> (Brevoort, 1856)	Maanago	Motomura et al. (2016)
Plotosidae	<i>Plotosus japonicus</i> Yoshino and Kishimoto, 2008	Gonzui	This study
Argentinidae	<i>Glossanodon semifasciatus</i> (Kishinouye, 1904)	Nigisu	Motomura et al. (2016)
Gonostomatidae	<i>Diplaphos taenia</i> Günther, 1873	Nettaiyumehadaka	Motomura et al. (2016)
Sternoptychidae	<i>Polypterus stereope</i> Jordan and Starks, 1904	Katahonen-eso	Motomura et al. (2016)
Phosichthyidae	<i>Polypterus elongata</i> (Matsubara, 1938)	Ryuguhadaka	Motomura et al. (2016)
Ateleopodidae	<i>Guentherius katoi</i> Senou, Kuwayama and Hirate, 2008	Hyomonsachiburi	Motomura et al. (2016)
Aulopidae	<i>Hime japonica</i> (Günther, 1877)	Hime	Fujiwara et al. (2019)
	<i>Hime</i> sp. sensu Nakabo and Kai (2013)	Hataatehime	This study
Synodontidae	<i>Synodus ulae</i> Schultz, 1953	Akaeso	This study
Chlorophthalmidae	<i>Chlorophthalmus albatrossis</i> Jordan and Starks, 1904	Aomeeso	Motomura et al. (2016)
Myctophidae	<i>Diaphus garmani</i> Gilbert, 1906	Hirohadaka	Motomura et al. (2016)
	<i>Diaphus suborbitalis</i> Weber, 1913	Senhadaka	Motomura et al. (2016)
	<i>Diaphus watasei</i> Jordan and Starks, 1904	Hadakawashi	Motomura et al. (2016)
Macrouridae	<i>Coelorinchus jordani</i> Smith and Pope, 1906	Kyushuhige	Motomura et al. (2016)
	<i>Coelorinchus kamoharui</i> Matsubara, 1943	Ichimonjijige	Motomura et al. (2016)
	<i>Coelorinchus longissimus</i> Matsubara, 1943	Tongarihige	Motomura et al. (2016)
	<i>Hymenocephalus longibarbis</i> (Günther, 1887)	Wanidara	Motomura et al. (2016)

Table 1. Continued.

Family	Species	Standard Japanese name	Reference
Ophidiidae	<i>Ventrifossa garmani</i> (Jordan and Gilbert, 1904)	Sagamisokodara	Motomura et al. (2016)
Lophiidae	<i>Neobythites stigmus</i> Machida, 1984	Shimaitachiuo	Motomura et al. (2016)
Antennariidae	<i>Lophius litulon</i> (Jordan, 1902)	Kianko	Motomura et al. (2016)
Channacidae	<i>Fowlerichthys scriptissimus</i> (Jordan, 1902)	Soshikaeruanko	Matsumura and Motomura (2025)
Ogcocephalidae	<i>Chaunax abei</i> Le Danois, 1978	Midorifusaanko	Motomura et al. (2016)
Berycidae	<i>Malhopsis annulifera</i> Tanaka, 1908	Wanukefuryuuo	Motomura et al. (2016)
Holocentridae	<i>Beryx mollis</i> Abe, 1959	Fusenkimme	Motomura et al. (2016)
	<i>Myripristis berndti</i> Jordan and Evermann, 1903	Akamatsukasa	Motomura et al. (2016)
	<i>Myripristis kochiensis</i> Randall and Yamakawa, 1996	Naminatsukasa	Motomura et al. (2016)
Trachichthyidae	<i>Sargocentron spiniferum</i> (Forskål, 1775)	Togariebisu	Motomura et al. (2016)
Parazenidae	<i>Hoplostethus japonicus</i> Hilgendorf, 1879	Hiuchidai	Motomura et al. (2016)
Zeidae	<i>Cyttopsis rosea</i> (Lowe, 1843)	Kagomatodai	Motomura et al. (2016)
	<i>Zenopsis nebulosa</i> (Temminck and Schlegel, 1845)	Kagamidai	Kitajima et al. (1976)
	<i>Zeus faber</i> Linnaeus, 1758	Matodai	Kitajima et al. (1976)
Zeniidae	<i>Zenion japonicum</i> Kamohara, 1934	Sokomatodai	Motomura et al. (2016)
Antigoniidae	<i>Antigonia rubescens</i> (Günther, 1860)	Benihishidai	Kitajima et al. (1976)
	<i>Antigonia rubicunda</i> Ogilby, 1910	Minamihishidai	Motomura et al. (2016)
Aulostomidae	<i>Aulostomus chinensis</i> (Linnaeus, 1766)	Herayagara	This study
Fistulariidae	<i>Fistularia commersonii</i> Rüppell, 1838	Aoyagara	Motomura et al. (2016)
	<i>Fistularia petimba</i> Lacepède, 1803	Akayagara	This study
Macroramphosidae	<i>Macroramphosus japonicus</i> (Günther, 1861)	Daikokusagifue	Kitajima et al. (1976)
	<i>Macroramphosus sagifue</i> Jordan and Starks, 1902	Sagifue	Motomura et al. (2016)
Syngnathidae	<i>Doryrhamphus (Doryrhamphus) japonicus</i> Araga and Yoshino, 1975	Nokogiriyoji	Motomura et al. (2016)
	<i>Halicampus brocki</i> (Herald, 1953)	Nokogiriumiyakko	Motomura et al. (2016)
Mugilidae	<i>Ellochelone vaigiensis</i> (Quoy and Gaimard, 1825)	Onibora	This study
	<i>Plicomugil labiosus</i> (Valenciennes, 1836)	Waniguchibora	This study
Exocoetidae	<i>Chelopogon unicolor</i> (Valenciennes, 1847)	Omenatsutobi	Motomura et al. (2016)
	<i>Hirundichthys oxycephalus</i> (Bleeker, 1853)	Hosootobi	This study
Belontiidae	<i>Tylosurus crocodilus crocodilus</i> (Péron and Lesueur, 1821)	Okizayori	This study
Scorpaenidae	<i>Dendrochirus zebra</i> (Cuvier, 1829)	Kirimmino	Motomura et al. (2016)
	<i>Parascorpaena mcadamsi</i> (Fowler, 1938)	Togcitenfusakasago	This study
	<i>Parascorpaena mossambica</i> (Peters, 1855)	Nettaifusakasago	Motomura et al. (2016)
	<i>Pterois volitans</i> (Linnaeus, 1758)	Hanaminokasago	Motomura et al. (2016)
	<i>Scorpaena onaria</i> Jordan and Snyder, 1900	Fusakasago	This study
	<i>Scorpaenodes evides</i> (Jordan and Thompson, 1914)	Isokasago	Motomura et al. (2016)
	<i>Scorpaenopsis cirrosa</i> (Thunberg, 1793)	Onikasago	Motomura et al. (2016)
	<i>Scorpaenopsis gigas</i> Matsumoto and Motomura, 2025	Daikoukasago	Matsumoto and Motomura (2025)
Setarchidae	<i>Lythrichthys eulabes</i> Jordan and Starks, 1904	Akakasago	Motomura et al. (2016)
	<i>Setarches guentheri</i> Johnson, 1862	Shirokasago	Wada et al. (2020)
Sebastidae	<i>Helicolenus hilgendorffii</i> (Döderlein, 1884)	Yumekasago	Motomura et al. (2016)
	<i>Sebastiscus marmoratus</i> (Cuvier, 1829)	Kasago	Higo et al. (1968)

Table 1. Continued.

Family	Species	Standard Japanese name	Reference
Triglidae	<i>Pterygoptirigla hemisticta</i> (Temminck and Schlegel, 1843)	Sokohobo	Motomura et al. (2016)
Peristediidae	<i>Peristodion orientale</i> Temminck and Schlegel, 1843	Kihobo	Motomura et al. (2016)
Hoplichthyidae	<i>Hoplichthys gilberti</i> Jordan and Richardson, 1908	Sokoharigochi	Motomura et al. (2016)
Ereuniidae	<i>Marukawichthys ambulator</i> Sakamoto, 1931	Marukawakajika	Motomura et al. (2016)
Psychrolutidae	<i>Ebinania brephocephala</i> (Jordan and Starks, 1903)	Bozukurajika	Motomura et al. (2016)
Acropomatidae	<i>Doederleinia berycoides</i> (Hilgendorf, 1879)	Akamutsu	Hata et al. (2018)
Synagropidae	<i>Synagrops japonicus</i> (Döderlein, 1883)	Sumikuiu	Motomura et al. (2016)
Malakichthyidae	<i>Malakichthys elegans</i> Matsubara and Yamaguti, 1943	Nagaomehata	Hata et al. (2018)
	<i>Malakichthys wakiyae</i> Jordan and Hubbs, 1925	Wakiyahata	Motomura et al. (2016)
	<i>Verilus pacificus</i> (Mochizuki, 1979)	Bakemutsu	Motomura et al. (2016)
Epinephelidae	<i>Aethaloperca rogaa</i> (Fabricius, 1775)	Kurohata	Motomura et al. (2016)
	<i>Cephalopholis argus</i> Schneider, 1801	Aonomehata	Motomura et al. (2016)
	<i>Cephalopholis miniata</i> (Forsskål, 1775)	Yukatahata	Motomura et al. (2016)
	<i>Cephalopholis urodeta</i> (Forster, 1801)	Nijihata	Motomura et al. (2016)
	<i>Epinephelus bruneus</i> Bloch, 1793	Kue	Motomura et al. (2016)
	<i>Epinephelus fasciatus</i> (Forsskål, 1775)	Akahata	Motomura et al. (2016)
	<i>Epinephelus maculatus</i> (Bloch, 1790)	Shirobuchihihata	Motomura et al. (2016)
	<i>Epinephelus merra</i> Bloch, 1793	Kammonhata	This study
	<i>Epinephelus poecilonotus</i> (Temminck and Schlegel, 1843)	Iyagohata	This study
	<i>Epinephelus quoyanus</i> (Valenciennes, 1830)	Moyouhata	Higo et al. (1968)
	<i>Hyporhodus septemfasciatus</i> (Thunberg, 1793)	Mahata	This study
	<i>Plectropomus laevis</i> (Lacepède, 1801)	Kokuhan-ara	Motomura et al. (2016)
	<i>Plectropomus leopardus</i> (Lacepède, 1802)	Sujiara	Motomura et al. (2016)
	<i>Variola albigarginata</i> Baissac, 1953	Ojirobarahata	Motomura et al. (2016)
Serranidae	<i>Plectranthias kamii</i> Randall, 1980	Izuhanadai	Motomura et al. (2016)
	<i>Pseudanthias hypselosoma</i> Bleeker, 1877	Keramahanadai	Motomura et al. (2016)
	<i>Pseudanthias squamipinnis</i> (Peters, 1855)	Kingyohanadai	Motomura et al. (2016)
Callanthiidae	<i>Callanthias japonicus</i> Franz, 1910	Shikishimahanadai	Motomura et al. (2016)
Pseudochromidae	<i>Pseudochromis marshallensis</i> Schultz, 1953	Hoshimesuzume	Motomura et al. (2016)
Plesiopidae	<i>Acanthoplesiops psilogaster</i> Hardy, 1985	Fuchidoritanabatauo	Motomura et al. (2016)
	<i>Belonepterygion fasciolatum</i> (Ogilby, 1889)	Togetanabatauo	Motomura et al. (2016)
	<i>Plesiops coeruleolineatus</i> Rüppell, 1835	Tanabatauo	Motomura et al. (2016)
Banjosiidae	<i>Banjios banjos banjos</i> (Richardson, 1846)	Chosembakama	Kitajima et al. (1976)
Priacanthidae	<i>Cookeolus japonicus</i> (Cuvier, 1829)	Chikamekintoki	Kitajima et al. (1976), This study
Apogonidae	<i>Apogon kominatoensis</i> Ebina, 1935	Kominatotenjikudai	Motomura et al. (2016)
	<i>Ostorhinchus doederleini</i> (Jordan and Snyder, 1901)	Osujishimochi	Motomura et al. (2016)
	<i>Ostorhinchus wassinki</i> (Bleeker, 1860)	Kinsenishimochi	Motomura et al. (2016)
	<i>Siphamia majimai</i> Matsubara and Iwai, 1958	Majimakuroishimochi	Motomura et al. (2016)
Malacanthidae	<i>Malacanthus brevirostris</i> Guichenot, 1848	Yasemadai	Motomura et al. (2016)
Scombroidae	<i>Scombrops boops</i> (Houttuyn, 1782)	Mutsu	Motomura et al. (2016)
Coryphaenidae	<i>Coryphaena equiselis</i> Linnaeus, 1758	Ebisushiira	Higo et al. (1968)
			Inoue et al. (2021)

Table 1. Continued.

Family	Species	Standard Japanese name	Reference
Carangidae	<i>Coryphaena hippurus</i> Linnaeus, 1758	Shiira	Kanamori et al. (1956)
	<i>Caranx sexfasciatus</i> Quoy and Gaimard, 1825	Gingameaji	Motomura et al. (2016)
	<i>Decapterus macrosoma</i> Bleeker, 1851	Moro	Kitajima et al. (1976)
	<i>Ferdautia orthogrammus</i> (Jordan and Gilbert, 1882)	Nan-yokaiwari	Motomura et al. (2016)
	<i>Kaiwarinus equula</i> (Temminck and Schlegel, 1844)	Kaiwari	Kitajima et al. (1976)
	<i>Seriola dumerili</i> (Risso, 1810)	Kampachi	Kanamori et al. (1956), This study
Emmelichthyidae	<i>Seriola rivoliana</i> Valenciennes, 1833	Hirenagakampachi	This study
	<i>Seriola quinqueradiata</i> Temminck and Schlegel, 1845	Buri	Higo et al. (1968)
	<i>Trachurus japonicus</i> (Temminck and Schlegel, 1844)	Maaji	Kitajima et al. (1976)
	<i>Emmelichthys struhsakeri</i> Heemstra and Randall, 1977	Rosokuchibiki	This study
	<i>Erythrocles schlegelii</i> (Richardson, 1846)	Hachibiki	Higo et al. (1968), This study
	<i>Etelis coruscans</i> Valenciennes, 1862	Hamadai	Motomura et al. (2016)
Lutjanidae	<i>Etelis radiosus</i> Anderson, 1981	Okuchihamadai	This study
	<i>Lipocheilus carnotabrum</i> (Chan, 1970)	Kibirefuedai	Motomura et al. (2016)
	<i>Lutjanus argentimaculatus</i> (Forsskal, 1775)	Gomafuedai	Motomura et al. (2016)
	<i>Lutjanus monostigma</i> (Cuvier, 1828)	Itenfuedai	Motomura et al. (2016)
	<i>Pristipomoides sieboldii</i> (Bleeker, 1855)	Himedai	This study
	<i>Gerres equulus</i> Temminck and Schlegel, 1844	Kurosagi	This study
Gerreidae	<i>Diagramma pictum pictum</i> (Thunberg, 1792)	Korodai	Motomura et al. (2016)
Haemulidae	<i>Plectorhinchus picus</i> (Cuvier, 1828)	Ajiakoshodai	Motomura et al. (2016)
Nemipteridae	<i>Pentapodus nagasakiensis</i> (Tanaka, 1915)	Iotamagashira	Motomura et al. (2016)
Sparidae	<i>Acanthopagrus schlegelii</i> (Bleeker, 1854)	Kurodai	Higo et al. (1968)
	<i>Dentex hypselosomus</i> Bleeker, 1854	Kidai	Kitajima et al. (1976)
Lethrinidae	<i>Pagrus major</i> (Temminck and Schlegel, 1843)	Madai	Kitajima et al. (1976)
	<i>Gymnocranius griseus</i> (Temminck and Schlegel, 1843)	Meichidai	Motomura et al. (2016)
Mullidae	<i>Gymnocranius superciliosus</i> Brosa, Béarez, Pajo and Chen, 2013	Hikimayumeichi	This study
	<i>Parupeneus ciliatus</i> (Lacepède, 1802)	Horaihimaji	Motomura et al. (2016)
Chaetodontidae	<i>Parupeneus multifasciatus</i> (Quoy and Gaimard, 1825)	Ojisan	This study
	<i>Parupeneus spilurus</i> (Bleeker, 1854)	Okinahimeji	Higo et al. (1968), Motomura et al. (2016)
	<i>Chaetodon auripes</i> Jordan and Snyder, 1901	Chochou	Higo et al. (1968), Motomura et al. (2016)
	<i>Chaetodon trifascialis</i> Quoy and Gaimard, 1825	Yarikatagi	This study
	<i>Chaetodon vagabundus</i> Linnaeus, 1758	Furaichochou	This study
	<i>Chaetodon wiebeli</i> Kaup, 1863	Tsukichochou	Motomura et al. (2016)
Pomacanthidae	<i>Apolemichthys trimaculatus</i> (Cuvier, 1831)	Shiten-yakko	Motomura et al. (2016)
Pentacerotidae	<i>Pomacanthus semicirculatus</i> (Cuvier, 1831)	Sazanamiyakko	This study
	<i>Histiopertus typus</i> Temminck and Schlegel, 1844	Kawabisha	Kitajima et al. (1976)
Latridae	<i>Goniistius zebra</i> (Döderlein, 1883)	Migimaki	Higo et al. (1968)
	<i>Goniistius zonatus</i> (Cuvier, 1830)	Takanohadai	Higo et al. (1968), Motomura et al. (2016)
Pomacentridae	<i>Abudefduf notatus</i> (Day, 1870)	Isosuzumedai	This study
	<i>Abudefduf sexfasciatus</i> (Lacepède, 1801)	Rokusensuzumedai	This study
	<i>Abudefduf sordidus</i> (Forsskal, 1775)	Shimasuzumedai	Motomura et al. (2016)

Table 1. Continued.

Family	Species	Standard Japanese name	Reference
	<i>Chromis chrysura</i> (Bliss, 1883)	Amamisuzumedai	This study
	<i>Plectroglyphidodon altus</i> (Okada and Ikeda, 1937)	Sedakasuzumedai	Motomura et al. (2016)
	<i>Pomacentrus coelestis</i> Jordan and Starks, 1901	Sorasuzumedai	Motomura et al. (2016)
	<i>Pomacentrus nagasakiensis</i> Tanaka, 1917	Nagasaki-suzumedai	Motomura et al. (2016)
	<i>Pycnochromis vanderbilti</i> Fowler, 1941	Himesuzumedai	Motomura et al. (2016)
Kuhliidae	<i>Kuhlia mugil</i> (Forster, 1801)	Gin-yugoi	This study
Oplegnathidae	<i>Oplegnathus fasciatus</i> (Temminck and Schlegel, 1844)	Ishidai	Motomura et al. (2016)
	<i>Oplegnathus punctatus</i> (Temminck and Schlegel, 1844)	Ishigakidai	Motomura et al. (2016)
	<i>Oplegnathus fasciatus</i> x <i>punctatus</i>	—	Motomura et al. (2016)
Kyphosidae	<i>Kyphosus bigibbus</i> Lacepède, 1801	Notoisuzumi	This study
	<i>Kyphosus cinerascens</i> (Forskål, 1775)	Tenjiku-isaki	This study
Girellidae	<i>Girella leonina</i> (Richardson, 1846)	Kurumejina	This study
	<i>Girella punctata</i> Gray, 1835	Mejina	Higo et al. (1968), Motomura et al. (2016)
Labridae	<i>Anampses caeruleopunctatus</i> Rüppell, 1829	Buchisusukibera	Motomura et al. (2016)
	<i>Bodianus oxycephalus</i> (Bleeker, 1862)	Kitsunedai	Motomura et al. (2016)
	<i>Choerodon zamboangae</i> (Seale and Bean, 1907)	Kisujijira	Furuhashi et al. (2025)
	<i>Calotomus japonicus</i> (Valenciennes, 1840)	Budai	Higo et al. (1968), Motomura et al. (2016)
	<i>Halichoeres melanochir</i> Fowler and Bean, 1928	Munatembera	Motomura et al. (2016)
	<i>Labroides dimidiatus</i> (Valenciennes, 1839)	Honsomewakebera	Motomura et al. (2016)
	<i>Pseudolabrus eoethinus</i> (Richardson, 1846)	Akasasanohabera	Motomura et al. (2016)
	<i>Scarus ghobban</i> Fabricius, 1775	Hibudai	Motomura et al. (2016)
	<i>Stethojulis interrupta</i> terina Jordan and Snyder, 1902	Kaminaribera	Motomura et al. (2016)
	<i>Thalassoma cupido</i> (Temminck and Schlegel, 1845)	Nishikibera	Motomura et al. (2016)
Pinguipedidae	<i>Parapercis tetracantha</i> (Lacepède, 1801)	Madaratoragisu	Motomura et al. (2016)
Creediidae	<i>Linnichthys fasciatus</i> Waite, 1904	Tobigimpo	Motomura et al. (2016)
Tripterygiidae	<i>Enneapterygius bahasa</i> Fricke, 1997	Gomafuhebigimpo	Dewa and Motomura (2025)
	<i>Enneapterygius erythrosoma</i> Shen, 1994	Subaruhebigimpo	Dewa and Motomura (2022)
	<i>Enneapterygius etheostoma</i> (Jordan and Snyder, 1902)	Hebigimpo	Motomura et al. (2016)
	<i>Enneapterygius tutuilae</i> Jordan and Seale, 1906	Segurohebigimpo	Motomura et al. (2016)
	<i>Helcogramma inclinata</i> (Fowler, 1946)	Ayalehebigimpo	Motomura et al. (2016)
	<i>Helcogramma striata</i> Hansen, 1986	Tatejimahebigimpo	Motomura et al. (2016)
	<i>Norfolkia brachylepis</i> (Schultz, 1960)	Kokutenisehebigimpo	Motomura et al. (2016)
	<i>Springerichthys bapturnus</i> (Jordan and Snyder, 1902)	Himegimpo	Motomura et al. (2016)
Chaenopsidae	<i>Neoclinus okazakii</i> Fukao, 1987	Araisokokegimpo	Motomura et al. (2016)
Blenniidae	<i>Andamia tetradactylus</i> (Bleeker, 1858)	Yodarekake	This study
	<i>Ecsenius namiyei</i> (Jordan and Evermann, 1902)	Niramigimpo	This study
	<i>Ecsenius yaeyamaensis</i> (Aoyagi, 1954)	Ishigakikaeruuo	This study
	<i>Entomacrodus caudofasciatus</i> (Regan, 1909)	Aomongimpo	This study
	<i>Entomacrodus striatus</i> (Valenciennes, 1836)	Sujigimpo	This study
	<i>Ecsenius lineatus</i> Klauswitz, 1962	Hitosujigimpo	Motomura et al. (2016)
	<i>Istiblennius enosimae</i> (Jordan and Snyder, 1902)	Kaeruuo	Motomura et al. (2016)

Table 1. Continued.

Family	Species	Standard Japanese name	This study	Reference
Gobiesocidae	<i>Petrosciurus breviceps</i> (Valenciennes, 1836)	Nijigimpo	This study	
	<i>Praealticus tanegasimae</i> (Jordan and Starks, 1906)	Tanegimpo	Motomura et al. (2016)	
	<i>Conidens laticephalus</i> (Tanaka, 1909)	Ankoubauo	Motomura et al. (2016)	
	<i>Lepadichthys trishula</i> Fujiwara, Hagiwara and Motomura 2020	Minamiubauo	Fujiwara et al. (2020)	
	<i>Pherallochthys meshimaensis</i> Shiogaki and Dotsu, 1983	Meshimaubauo	Motomura et al. (2016)	
Callionymidae	<i>Pherallodus indicus</i> (Weber, 1913)	Hosoubauo	This study	
Gobiidae	<i>Spinicapitichthys draconis</i> (Nakabo, 1977)	Tatsunumeri	Motomura et al. (2016), Koeda and Motomura (2017)	
	<i>Amblyeleotris japonica</i> Takagi, 1957	Datehaze	This study	
	<i>Asterropteryx semipunctata</i> Rüppell, 1830	Hoshihaze	This study	
	<i>Bathygobius cocosensis</i> (Bleeker, 1854)	Sujikumohaze	This study	
	<i>Bathygobius cyclopterus</i> (Valenciennes, 1837)	Yahazuhaze	This study	
	<i>Bathygobius fuscus</i> (Rüppell, 1830)	Kumohaze	Motomura et al. (2016)	
	<i>Callogobius shunkan</i> Takagi, 1957	Shunkanhaze	Motomura et al. (2016)	
	<i>Chaenogobius gulosus</i> (Sauvage, 1882)	Dorome	Motomura et al. (2016)	
	<i>Eviota masudai</i> Matsuura and Senou, 2006	Akaisohaze	Motomura et al. (2016)	
	<i>Eviota prasina</i> (Klunzinger, 1871)	Nan-yomidorihaze	Motomura et al. (2016)	
	<i>Eviota smaragdus</i> Jordan and Seale, 1906	Kurohoshihaze	This study	
	<i>Eviota toshiyuki</i> Greenfield and Randall, 2010	Midorihaze	Motomura et al. (2016)	
	<i>Fusigobius duospilus</i> Hoese and Reader, 1985	Sehoshisankakuhaze	Motomura et al. (2016)	
	<i>Gnatholepis cauerensis</i> (Bleeker, 1853)	Kataboshiomohaze	Motomura et al. (2016)	
	<i>Gobiodon axillaris</i> De Vis, 1884	Seakakobanhaze	This study	
	<i>Gobiodon quinquestrigatus</i> (Valenciennes, 1837)	Futairosangohaze	This study	
	<i>Gobiodon</i> sp. A sensu Hayashi et al. (1990)	Kobanhaze	This study	
	<i>Gobiodon</i> sp. 4 sensu Akihito et al. (2013)	Futasujikobanhaze	This study	
	<i>Gobiodon spadix</i> Sato and Motomura, 2024	Akanekobanhaze	This study	
	<i>Heteroleotris exilis</i> Shibukawa, 2010	Sasagakihaze	Motomura et al. (2016)	
	<i>Heteroleotris poecila</i> (Fowler, 1946)	Shirozukinhaze	This study	
	<i>Istigobius campbelli</i> (Jordan and Snyder, 1901)	Kutsuwahaze	This study	
	<i>Luciogobius elongatus</i> Regan, 1905	Nagamimizuhaze	This study	
	<i>Luciogobius</i> sp. 3 sensu Shibukawa et al. (2019)	Gomamimizuhaze	This study	
	<i>Paragobiodon lacunicolus</i> (Kendall and Goldsborough, 1911)	Pandadarumhaze	This study	
	<i>Priolepis cincta</i> (Regan, 1908)	Benkeihaze	Motomura et al. (2016)	
Ptereleotridae	<i>Trimma okinawae</i> (Aoyagi, 1949)	Okinawabenihaze	Motomura et al. (2016)	
Ephippidae	<i>Parioglossus philippinus</i> (Herre, 1945)	Benitsukesatsukihaze	This study	
Scatophagidae	<i>Platax orbicularis</i> (Forsskal, 1775)	Nan-yotsubameuo	This study	
	<i>Scatophagus argus</i> (Linnaeus, 1766)	Kurohoshimanjudai	This study	
Siganidae	<i>Siganus argenteus</i> (Quoy and Gaimard, 1825)	Hanaaigo	This study	
	<i>Siganus fuscus</i> (Houttuyn, 1782)	Aigo	This study	
Acanthuridae	<i>Acanthurus dussumieri</i> Valenciennes, 1835	Nisekanranhagi	Motomura et al. (2016)	
	<i>Naso maculatus</i> Randall and Struhsaker, 1981	Gomatenguhagimodoki	Motomura et al. (2016)	
	<i>Prionurus scalprum</i> Valenciennes, 1835	Nizadai	Higo et al. (1968), Motomura et al. (2016)	

Table 1. Continued.

Family	Species	Standard Japanese name	Reference
Istiophoridae	<i>Makaira nigricans</i> Lacepède, 1802	Kurokajiki	Kanamori et al. (1956)
Trichiuridae	<i>Trichiurus japonicus</i> Temminck and Schlegel, 1844	Tachiuo	Kitajima et al. (1976)
Scombridae	<i>Axius thazard thazard</i> (Lacepède, 1800)	Hirasoda	Higo et al. (1968)
	<i>Euthynnus affinis</i> (Cantor, 1849)	Suma	Kanamori et al. (1956), Higo et al. (1968), This study
	<i>Katsuwonus pelamis</i> (Linnaeus, 1758)	Katsuo	Kanamori et al. (1956)
	<i>Scomber australasicus</i> Cuvier, 1832	Gomasaba	Higo et al. (1968)
	<i>Scomber japonicus</i> Houttuyn, 1782	Masaba	Kitajima et al. (1976)
	<i>Thunnus albacares</i> (Bonnaterre, 1788)	Kihada	Higo et al. (1968)
Samaridae	<i>Plagiopsetta glossa</i> Franz, 1910	Berogarei	This study
Soleidae	<i>Aseraggodes</i> sp. sensu Nakabo and Doiuchi (2013)	Musumeushinoshita	Motomura et al. (2016)
Balistidae	<i>Balistoides conspicillum</i> (Bloch and Schneider, 1801)	Mongarakawahagi	Higo et al. (1968), Motomura et al. (2016)
	<i>Canthidermis maculata</i> (Bloch, 1786)	Amimongara	This study
	<i>Sufflamen chrysopterum</i> (Bloch and Schneider, 1801)	Tsumajitromongara	Motomura et al. (2016)
	<i>Sufflamen fraenatum</i> (Latreille, 1804)	Meganehagi	Motomura et al. (2016)
Monacanthidae	<i>Thamnaconus modestoides</i> (Barnard, 1927)	Kibirekawahagi	Hata and Motomura (2017)
	<i>Thamnaconus modestus</i> (Günther, 1877)	Umazurahagi	Kitajima et al. (1976)
	<i>Thamnaconus tessellatus</i> (Günther, 1880)	Goishiumazurahagi	Hata et al. (2018)
Ostraciidae	<i>Ostracion immaculatus</i> Temminck and Schlegel, 1850	Hakofugu	Higo et al. (1968), Motomura et al. (2016)
Tetraodontidae	<i>Arothron hispidus</i> (Linnaeus, 1758)	Sazanamifugu	This study
	<i>Canthigaster axiologus</i> Whitley, 1931	Hanakinchakufugu	Motomura et al. (2016)
	<i>Canthigaster rivulata</i> (Temminck and Schlegel, 1850)	Kitanakura	Motomura et al. (2016)
	<i>Sphaeroides pachygaster</i> (Müller and Troschel, 1848)	Yoritofugu	Kitajima et al. (1976), This study
Diodontidae	<i>Chilomycterus reticulatus</i> (Linnaeus, 1758)	Ishigakifugu	Motomura et al. (2016)
	<i>Diodon holocanthus</i> Linnaeus, 1758	Harisembon	Motomura et al. (2016)

宇治群島周辺海域の既報の魚類リスト

宇治群島・草垣島周辺海域において漁場調査と漁業調査（曳縄，カジキ延縄，瀬魚底延縄，およびサバー本釣）をおこなった金森ほか（1956）は，宇治群島周辺海域から 14 種以上の魚類を報告した。宇治群島周辺海域 16 地点において漁場調査と漁獲試験（一本釣り，曳縄釣り，および刺網）をおこなった肥後ほか（1968）は，同海域から 20 種の魚類を報告した。また，九州南西海域 32 調査地点におけるトロール調査を行った北島ほか（1976）は，宇治群島周辺の 1 地点（網次番号 17）から 21 種（未同定種を含む）を報告した。これらのうち，金森ほか（1956）が報告した 5 種，肥後ほか（1968）が報告した 12 種，および北島ほか（1976）が報告した 20 種は Motomura et al. (2016) 以降の既報の文献で示された宇治群島産魚類に含まれていなかった。そのため，本研究では宇治群島周辺海域の魚類相を包括的に把握するため，金森ほか（1956），肥後ほか（1968），および北島ほか（1976）を含む宇治群島周辺海域産魚類リストを付した（Table 1）。Motomura et al. (2016) により宇治群島から 154 種が記録されたのち，同群島から報告された魚類は冒頭に示した通りの 11 種であるが，本研究では宇治群島から新たに 72 種（標本に基づく初記録を含む）を記録し，上記の金森ほか（1956），肥後ほか（1968），および北島ほか（1976）から Motomura et al. (2016) では記録されなかった 36 種の魚類を確認した。なお，金森ほか（1956）がシビ，ソーダガツオ，アオフカ，フカ類，アラ，タマミ，クチビダイ，瀬魚，およびサバと報告した 9 種と北島ほか（1976）がツノザメ属の 1 種として報告した種は，正確な同定ができなかったためリストには含めなかった。

また，Motomura et al. (2016) が記録したゾウカスベ *Dipturus gigas* (Ishiyama, 1958) はキツネカスベ *Dipturus macrocauda* (Ishiyama, 1955)（三澤 遼氏，私信），ミサキウバウオ属の一種 1・2 *Lepadichthys* spp. 1 and 2 はミナミウバウオ *Lepadichthys trishula* Fujiwara et al., 2020 (Fujiwara et al., 2020)，およびヘビギンポ属の一種 *Enneapterygius* sp. はスバルヘビギンポ *Enneapterygius erythrosoma* Shen, 1994 (Dewa and Motomura, 2022) にそれぞれ

再同定された。これらのことから、宇治群島周辺海域から確認されている魚類の総種数は 270 種となる (Table 1)。

謝 辞

鹿児島大学水産学部附属練習船南星丸の乗組員のみなさまには宇治群島での採集調査にご協力いただいた。遊漁船なぎさ丸船長山崎 亮氏には写真資料をご提供いただいた。京都大学フィールド科学教育研究センター舞鶴水産実験所の小幡光汰氏と国立研究開発法人水産研究・教育機構水産大学の三澤 遼氏にはそれぞれベロガレイとキツネカスベの同定にご協力いただいた。鹿児島大学総合研究博物館魚類分類学研究室の学生やボランティアのみなさまには、標本の作製および登録作業においてご協力いただいた。Ichthy 編集委員の吉田朋弘氏と匿名の査読者には本稿に対して適切な助言をいただいた。本研究は鹿児島大学総合研究博物館の「鹿児島・琉球列島の魚類多様性調査プロジェクト」の一環としておこなわれた。本研究の一部は公益財団法人日本海事科学振興財団「海の学びミュージアムサポート」、JSPS 科研費 (20H03311・21H03651・23K20304・24K02087), JSPS 研究拠点形成事業—B アジア・アフリカ学術基盤形成型 (CREPSUM JPJSCCB20200009), 文部科学省機能強化費「世界自然遺産候補地・奄美群島におけるグローバル教育研究拠点形成」、および鹿児島大学のミッション実現戦略分事業 (奄美群島を中心とした「生物と文化の多様性保全」と「地方創生」の革新的融合モデル) の援助を受けた。

引用文献

- 明仁・坂本勝一・池田裕二・藍澤正宏. 2013. ハゼ亜目, pp. 1347–1608, 2109–2211. 中坊徹次 (編) 日本産魚類検索 全種の同定. 第3版. 東海大学出版会, 秦野.
- Dewa, Y. and H. Motomura. 2022. Redescription of *Enneapterygius erythrosoma* Shen 1994 and a synopsis of *Enneapterygius similis* Fricke 1997, with comments on the taxonomic status of *Enneapterygius rubicauda* Shen 1994 (Perciformes: Tripterygiidae). Ichthyological Research, doi: 10.1007/s10228-022-00871-4 (28 June 2022), 70: 142–160 (26 Jan. 2023).
- 出羽優風・本村浩之. 2025. 鹿児島県本土と宇治群島初記録のゴマフヘビギンポ, および本種の標準と名に関する再検討. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 52: 46–53.
- Fujiwara, K., K. Hagiwara and H. Motomura. 2020. Redescription of *Lepadichthys coccinotaenia* Regan 1921 and description of *Lepadichthys trishula* sp. nov. from southern Japan (Gobiesocidae: Diademichthyinae). Ichthyological Research, doi: 10.1007/s10228-020-00737-7 (25 Feb. 2020), 67: 422–438 (30 June 2020).
- 藤原恭司・久米 元・本村浩之. 2019. 鹿児島県から得られたシャチブリ科の稀種ヒョウモンシャチブリ. Nature of Kagoshima, 46: 155–158.
- 古橋龍星・久高健飛・本村浩之. 2025. ベラ科イラ属の標準と名ミナベイラはキスジイラの新参異名. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 51: 25–35.
- 畑 晴陵・日比野友亮・伊東正英・本村浩之. 2015. 宇治群島宇治島と奄美群島喜界島から得られたウミヘビ科魚類モヨウモンガラドオシ *Myrichthys maculosus*. Nature of Kagoshima, 41: 23–29.
- 畑 晴陵・川間公達・本村浩之. 2018. 宇治群島から得られた魚類 3 種の記録. Nature of Kagoshima, 44: 257–264.

- 畑 晴陵・本村浩之. 2017. 宇治群島から得られた鹿児島県 2 例目のキビレカワハギ. Nature of Kagoshima, 43: 235–238.
- 畑 晴陵・土田洋之・本村浩之. 2016. 宇治群島から得られたシキシマハナダイ *Callanthias japonicus*. Nature of Kagoshima, 42: 157–161.
- 波戸岡清峰. 2000. ウツボ科, pp. 196–211, 1453–1456. 中坊徹次 (編) 日本産魚類検索 全種の同定. 第2版. 東海大学出版会, 東京.
- 波戸岡清峰. 2013. ウナギ科, pp. 240, 1783–1784. 中坊徹次 (編) 日本産魚類検索 全種の同定. 第3版. 東海大学出版会, 秦野.
- 林 公義・藍澤正宏・伊藤 孝・新井良一. 1990. 奄美大島の海産ハゼ科魚類相. 国立科学博物館専報, 23: 123–150.
- 肥後伸夫・田ノ上豊隆・盛田友式. 1968. 宇治群島周辺の漁業開発に関する研究. 鹿児島大学水産学部紀要, 17: 45–63.
- 井上賢太郎・伊東正英・和田英敏・本村浩之. 2021. 宇治群島初記録のエビスシイラ *Coryphaena equiselis*. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 6: 66–68.
- 金森政治・盛田友式・田ノ上豊隆・江波澄雄. 1956. 宇治群島の漁業. 南方産業科学研究所報告, 1: 39–63.
- Kita, T., K. Matsushige, S. Endo, N. Mochioka and K. Tachihara. 2021. First Japanese records of *Anguilla luzonensis* (Osteichthyes: Anguilliformes: Anguillidae) glass eels from Okinawa-jima Island, Ryukyu Archipelago, Japan. Species Diversity, 26: 31–36.
- 北島忠弘・田川 勝・岸田周三. 1976. 九州南西海域の大陸斜面及び沖繩舟状海盆におけるトロール調査結果について. 西海区水産研究所研究報告, 48: 47–92.
- 小枝圭太・本村浩之. 2017. 鹿児島大学総合研究博物館に所蔵されている胃内容物魚類標本. Nature of Kagoshima, 43: 257–269.
- 公益財団法人日本離島センター. 2019. 新版 日本の島ガイド SHIMADAS. 公益財団法人日本離島センター, 東京. 1712 pp.
- Matsumoto, T. and H. Motomura. 2025. *Scorpaenopsis gigas*, a new Indo-West Pacific species of scorpionfish (Scorpaenidae). Ichthyological Research, doi: 10.1007/s10228-025-01027-w (5 May 2025).
- 松村優花・本村浩之. 2025. 九州沿岸と宇治群島初記録のソウシカエルアンコウ (カエルアンコウ科). Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 53: 56–60.
- 本村浩之. 2009. 魚類標本の作製と管理マニュアル. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島. 70 pp.
- 本村浩之. 2025. 日本産魚類全種目録. これまでに記録された日本産魚類全種の現在の標準と名と学名. Online ver. 30. [URL](https://www.natural-history-of-japan.com/)
- Motomura, H., A. Habano, Y. Arita, M. Matsuoka, K. Furuta, K. Koeda, T. Yoshida, Y. Hibino, B. Jeong, S. Tashiro, H. Hata, Y. Fukui, K. Eguchi, T. Inaba, T. Uejo, A. Yoshiura, Y. Ando, Y. Haraguchi, H. Senou and K. Kuriwa. 2016. The ichthyofauna of the Uji Islands, East China Sea: 148 new records of fishes with notes on biogeographical implications. Memoirs of the Faculty of Fisheries, Kagoshima University, 64: 10–34.
- 中坊徹次・土居内龍. 2013. ササウシノシタ科, pp. 1687–1692, 2231–2233. 中坊徹次 (編) 日本産魚類検索 全種の同定. 第3版. 東海大学出版会, 秦野.
- Teng, H.-Y., Y.-S. Lin and C.-S. Tzeng. 2009. A new *Anguilla* species and a reanalysis of the phylogeny of freshwater eels. Zoological Studies, 48: 808–822.
- Wada, H., Y. Kai and H. Motomura. 2020. Redescription of the circumglobal deepwater scorpionfish *Setarches guentheri* (Setarchidae). Ichthyological Research, doi: 10.1007/s10228-020-00762-6 (11 July 2020), 68: 32–54 (17 Jan. 2021).
- Watanabe, S., J. Aoyama, S. Hagihara, B. Ai, R. V. Azanza and K. Tsukamoto. 2013. *Anguilla huangi* Teng, Lin, and Tzeng, 2009, is a junior synonym of *Anguilla luzonensis* Watanabe, Aoyama, and Tsukamoto, 2009. Fisheries Science, doi: 10.1007/s12562-013-0620-y (23 Apr. 2013), 79: 375–383 (3 May. 2013).
- Watanabe, S. J. Aoyama and K. Tsukamoto. 2004. Reexamination of Ege's (1939) use of taxonomic characters of the genus *Anguilla*. Bulletin of Marine Science, 74: 337–351.
- Watanabe, S. J. Aoyama and K. Tsukamoto. 2009. A new species of freshwater eel *Anguilla luzonensis* (Teleostei: Anguillidae) from Luzon Island of the Philippines. Fisheries Science, 75: 387–392.
- 山下真弘・吉田朋弘・本村浩之. 2012. 鹿児島県産軟骨魚類標本目録. Nature of Kagoshima, 38: 119–138.